

沢の上流域における調査候補地について

2025年5月
JR東海中央新幹線静岡工事事務所

沢の上流域における調査候補地の基本的な考え方

沢の上流域における調査候補地の基本的な考え方

【候補地の基本的な考え方】

- ① 渇水期に撮影された衛星画像から水線が確認される範囲のうち、最上流端付近より、やや下流（自然の渇水の影響とトンネル掘削による影響を区別しやすいため。また、最上流端付近よりやや下流とするのは降水量によって渇水期の水線の標高は変化する可能性があるため）
- ② 上流域モデルにより流量減少が予測される範囲
- ③ 平水期相当の衛星写真を使用して判別した各生息場類型（小滝、淵、早瀬、平瀬）を含んだ範囲

➡ 上記 3 要件を可能な限り満たすよう調査候補地を選定しました（※）

※候補地であり、固定するものではない

① 渇水期に撮影された衛星画像から水線が確認される範囲

➡ 西俣測水所における河川流量の常時計測結果から、豊水流量、平水流量、低水流量、渇水流量に相当する時期にあたる衛星写真を取得し、各時期における各沢の水線を確認しました（使用した衛星写真：豊水 H30.7.18、平水 R3.10.5、低水 R1.12.8、渇水 H31.2.26）

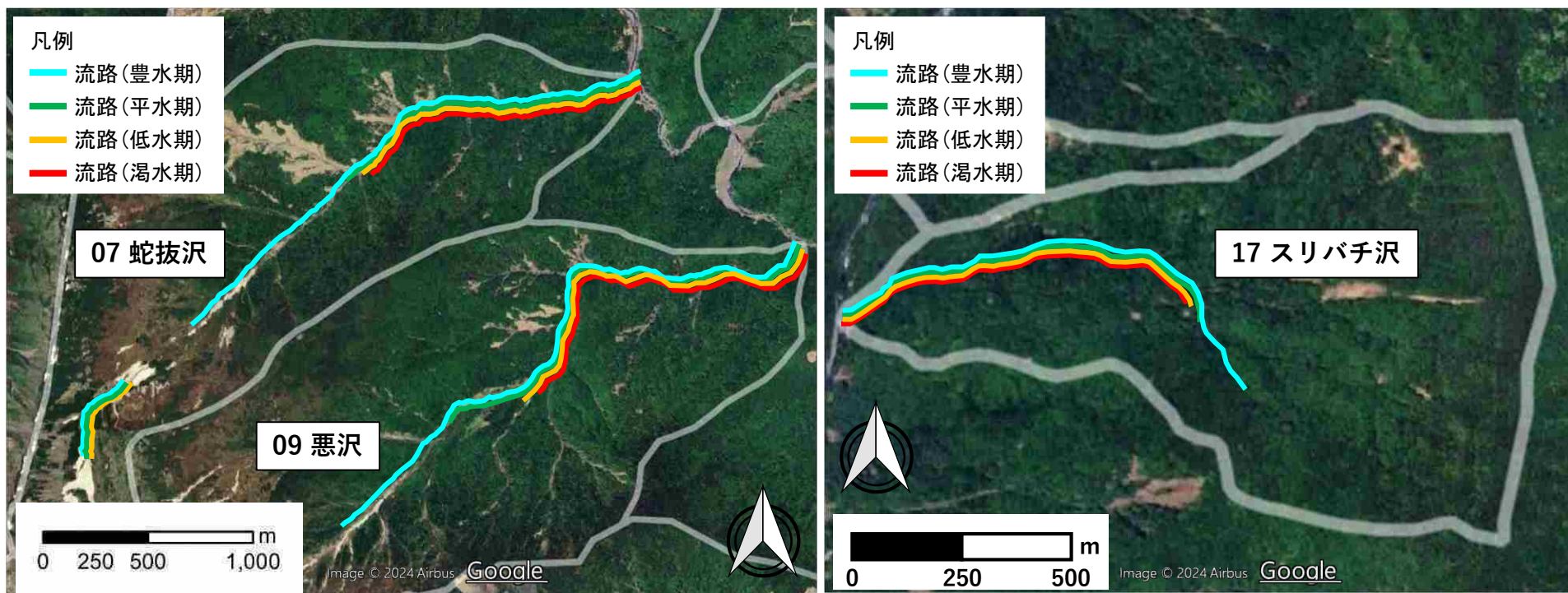


図 蛇抜沢、悪沢、スリバチ沢における時期による水線の変化

②上流域モデルにより流量減少が予測される範囲

➡ 上流域モデルにおいて、解析上、1年間のうち最も流末での流量が小さくなる日（2012年3月29日）における地表水流量の変化から特定しました。

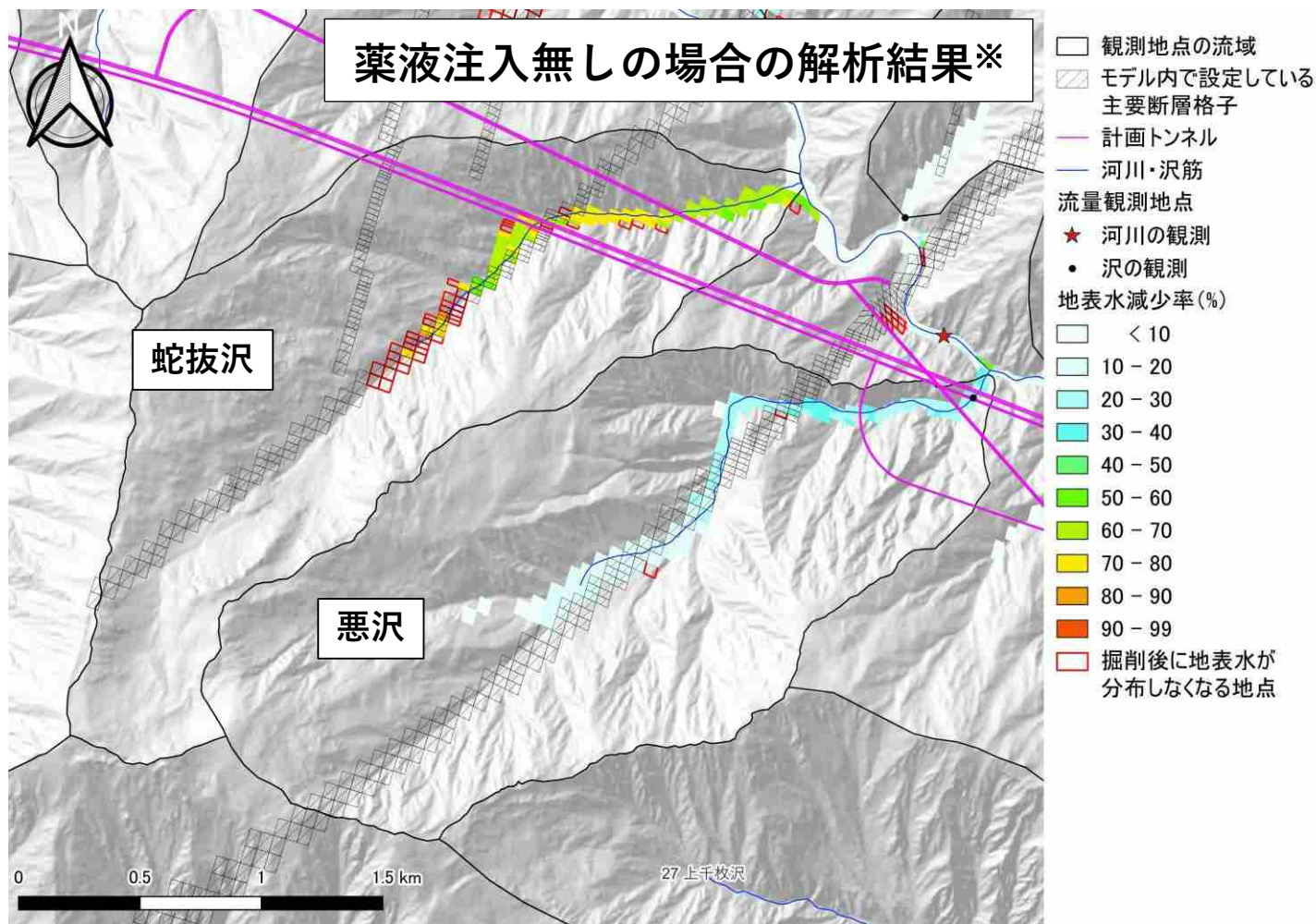
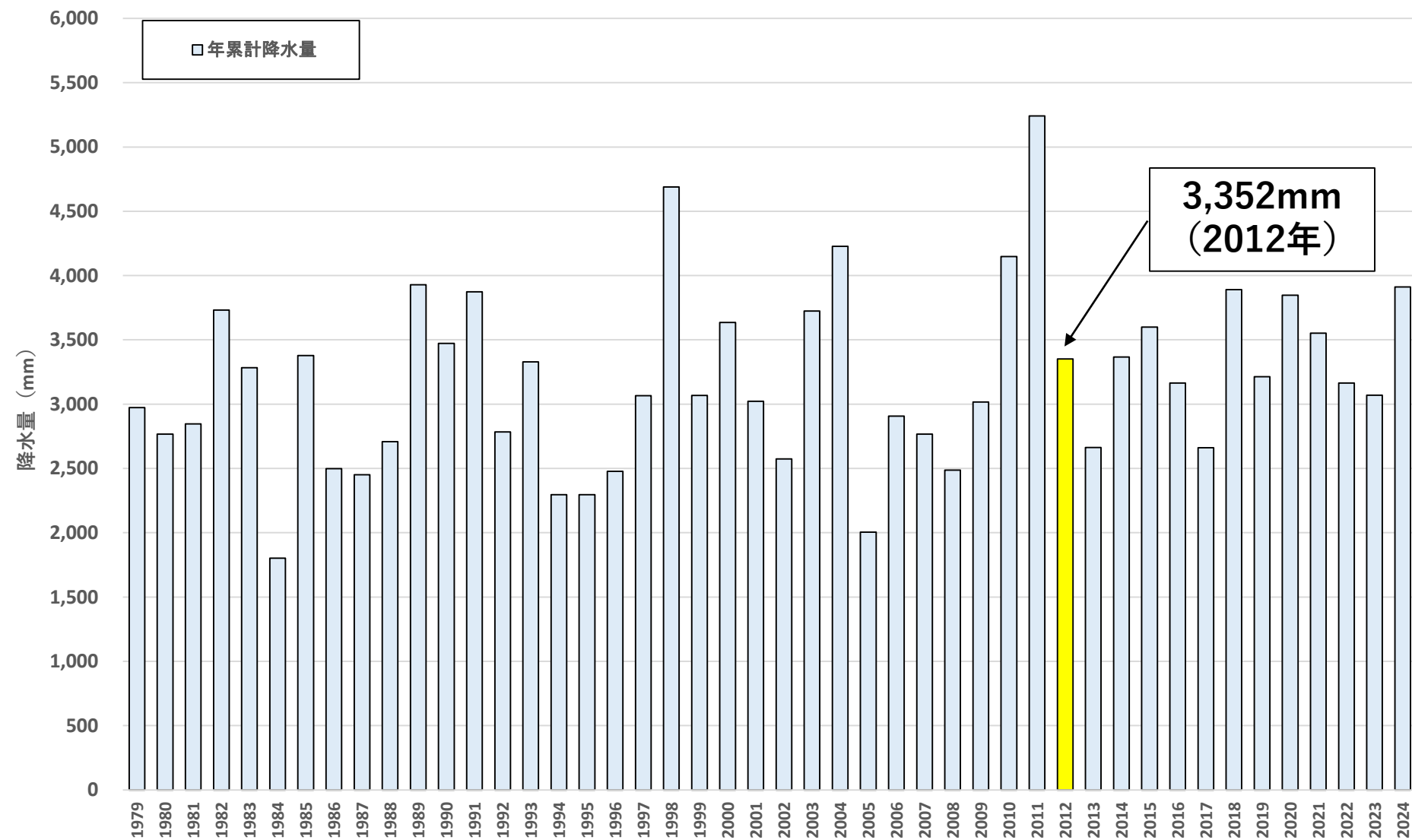


図 地表水流量の変化（1年間のうち最も流末での流量が小さくなる日（2012年3月29日））

※薬液注入の効果の不確実性を考慮し、薬液注入の効果がなかった場合に影響が生じる可能性がある箇所を調査候補地点の検討において参考とすることとした

(参考) 2012年の降水量について

井川観測所 降水量（1979年～2024年）

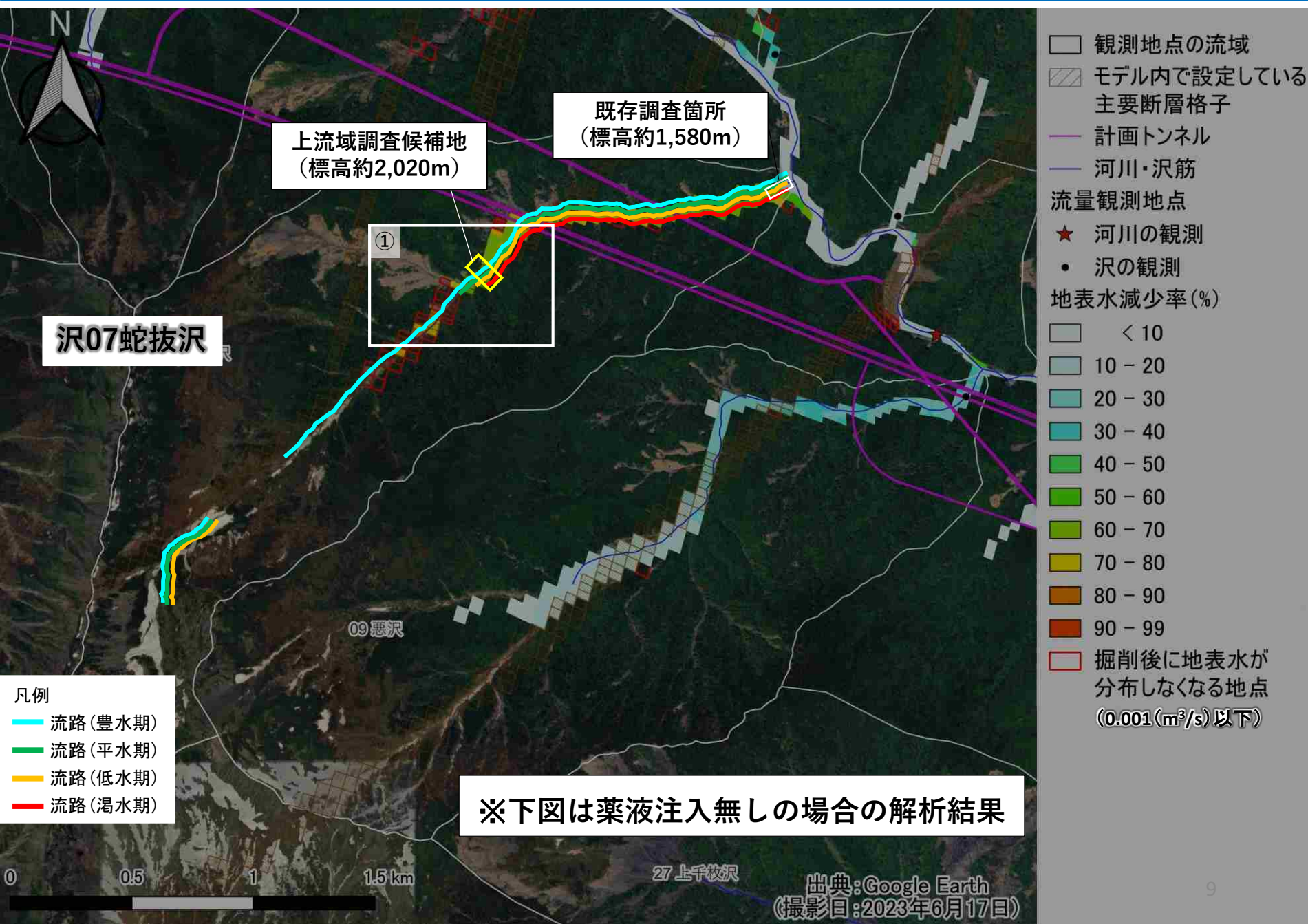


過去10年の平均値：3,407mm、過去20年の平均値：3,301mm

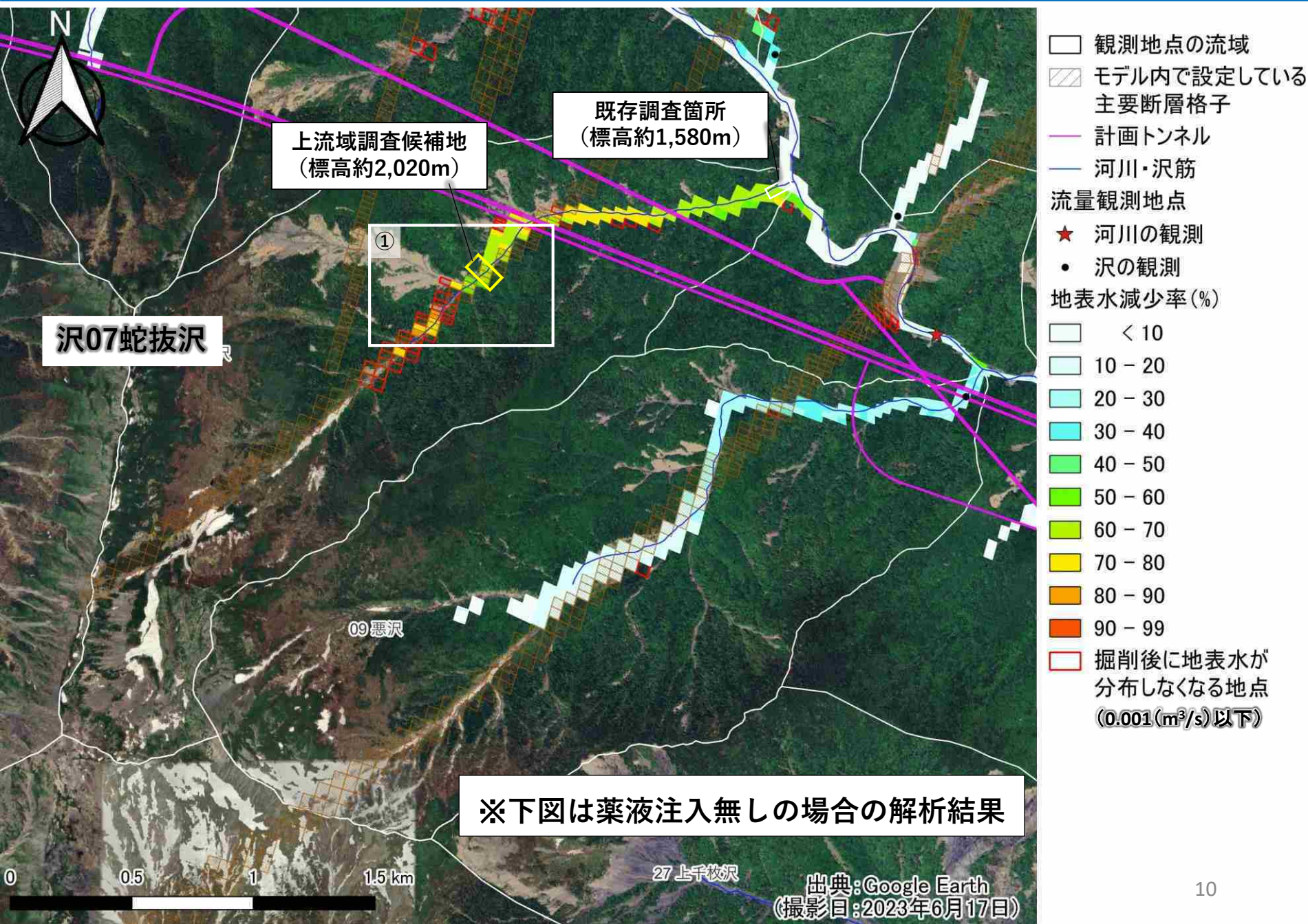
具体的な調査地点について

沢07蛇抜沢について

① 渇水期に撮影された衛星画像から水線が確認される範囲



②上流域モデルにより流量減少が予測される範囲

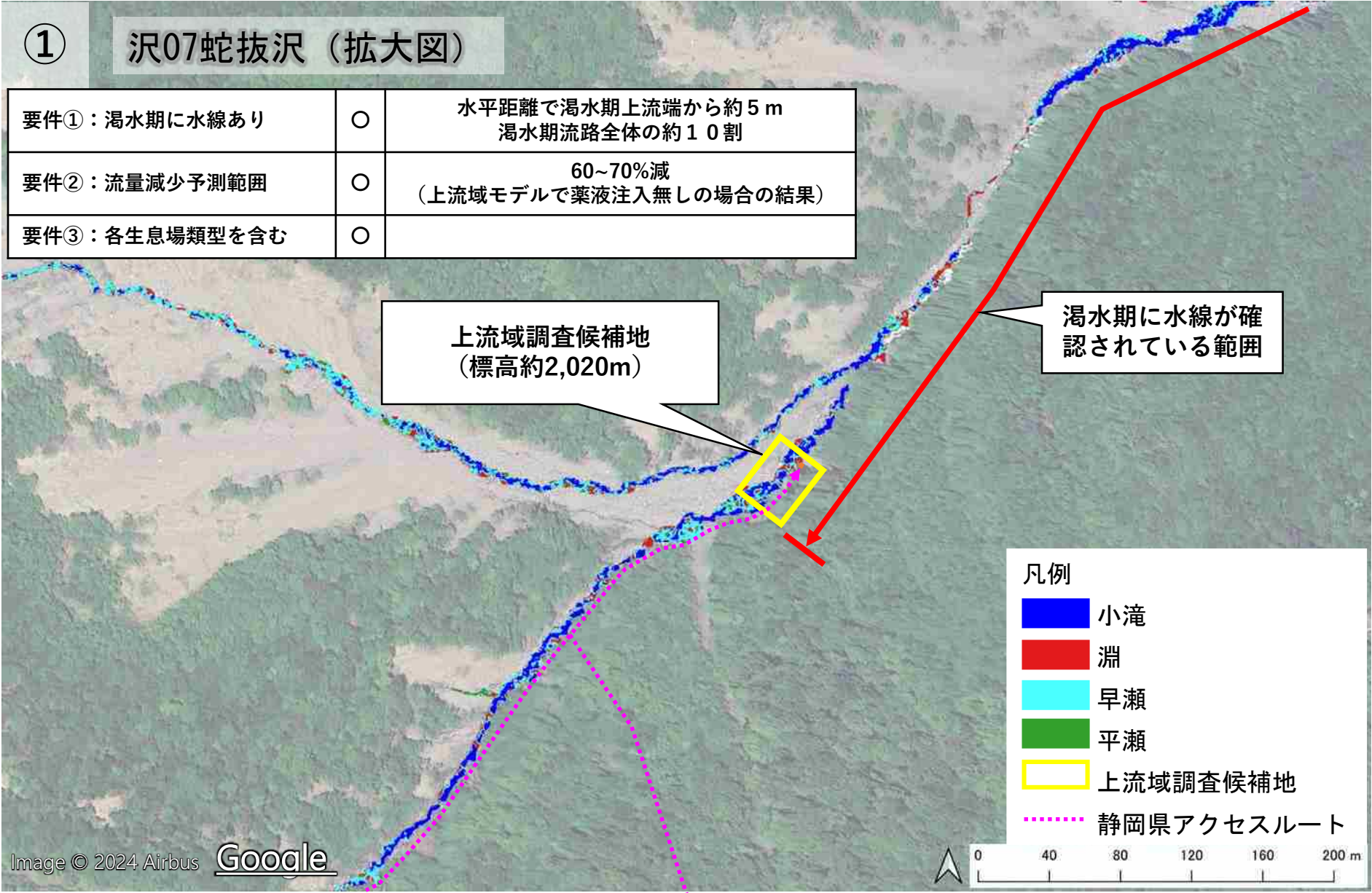


③生息場類型の確認

①

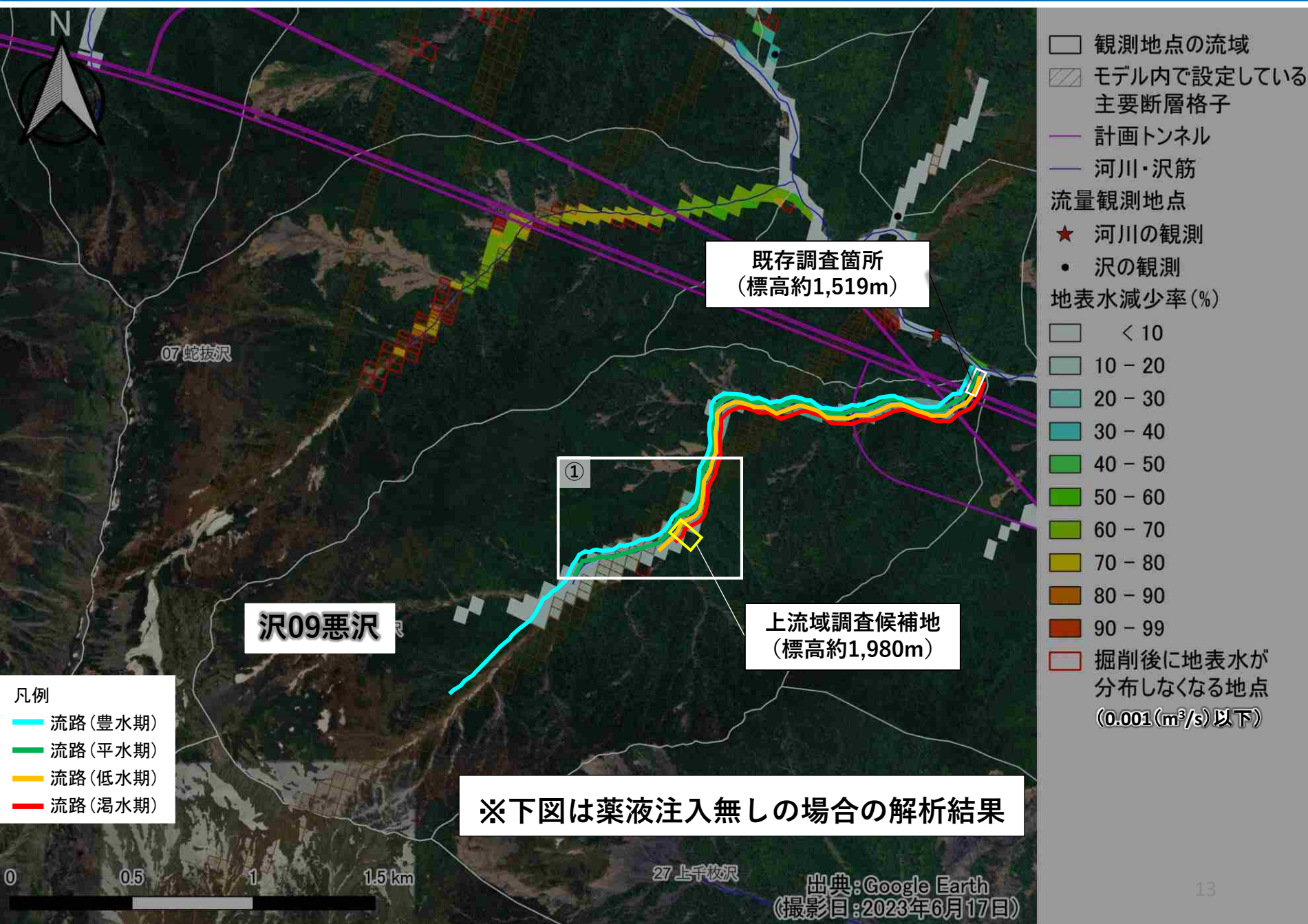
沢07蛇抜沢（拡大図）

要件①：渇水期に水線あり	○	水平距離で渇水期上流端から約 5 m 渇水期流路全体の約 10 割
要件②：流量減少予測範囲	○	60~70%減 (上流域モデルで薬液注入無しの場合の結果)
要件③：各生息場類型を含む	○	

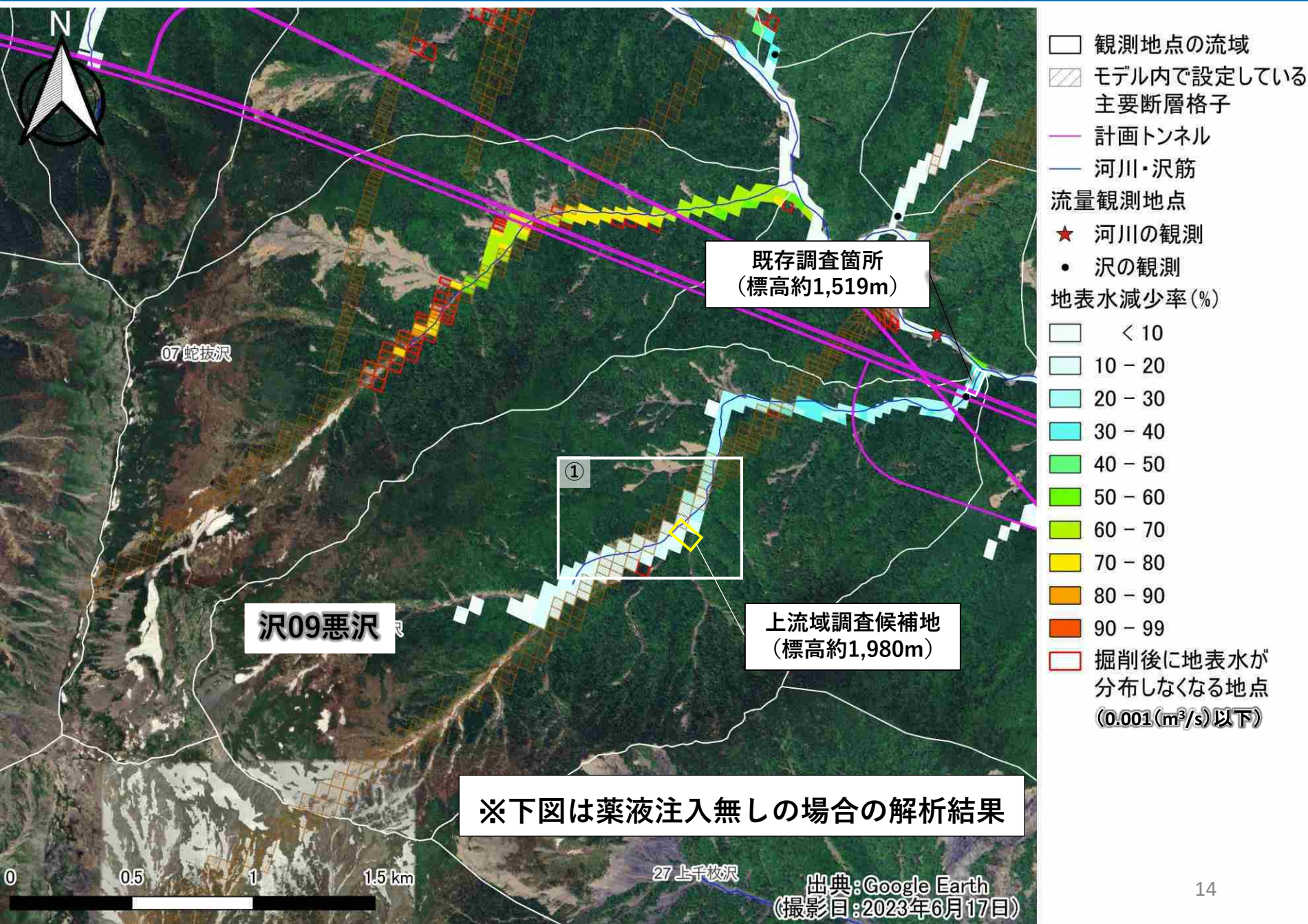


沢09悪沢について

① 渇水期に撮影された衛星画像から水線が確認される範囲



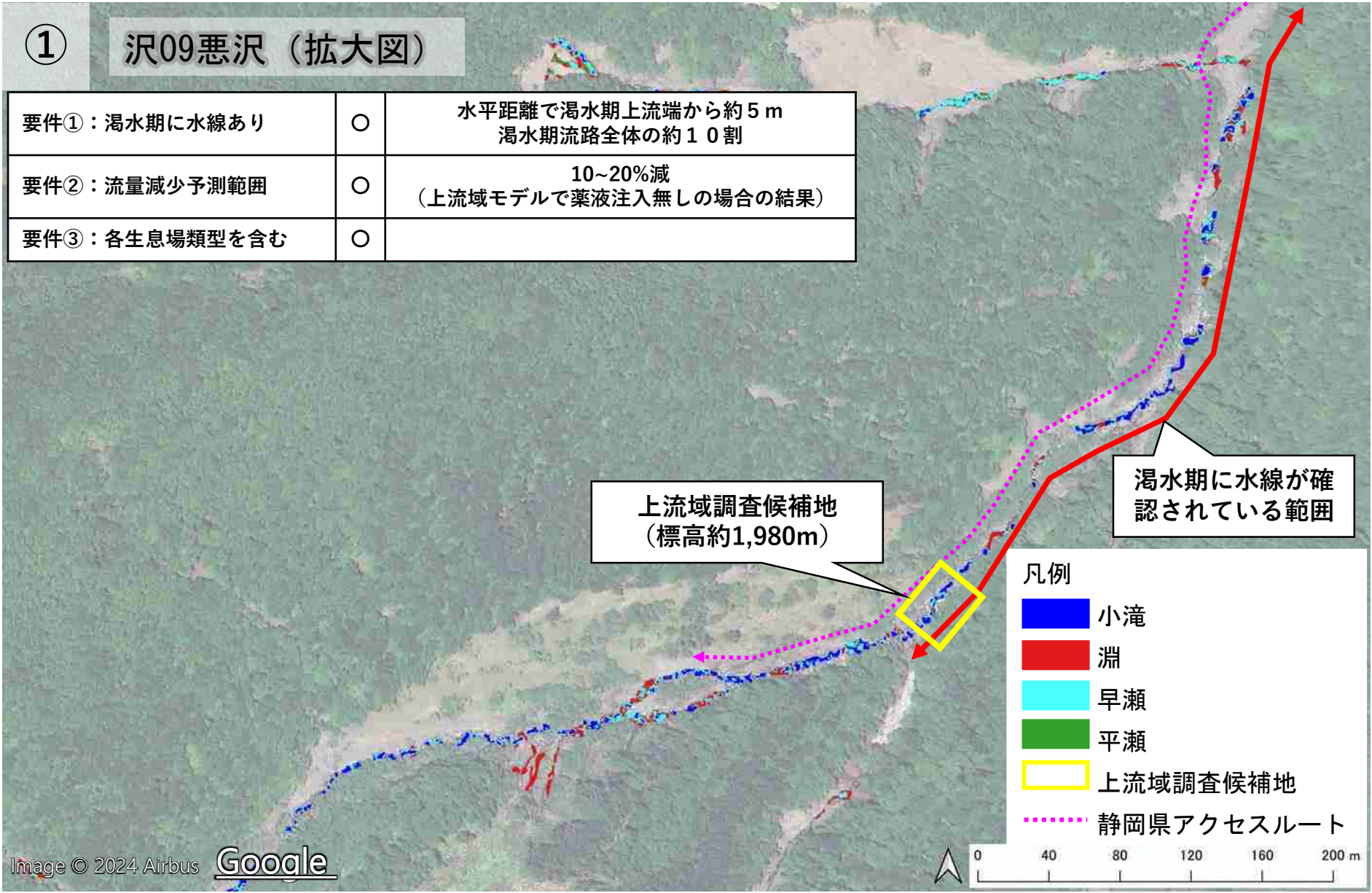
②上流域モデルにより流量減少が予測される範囲



③生息場類型の確認

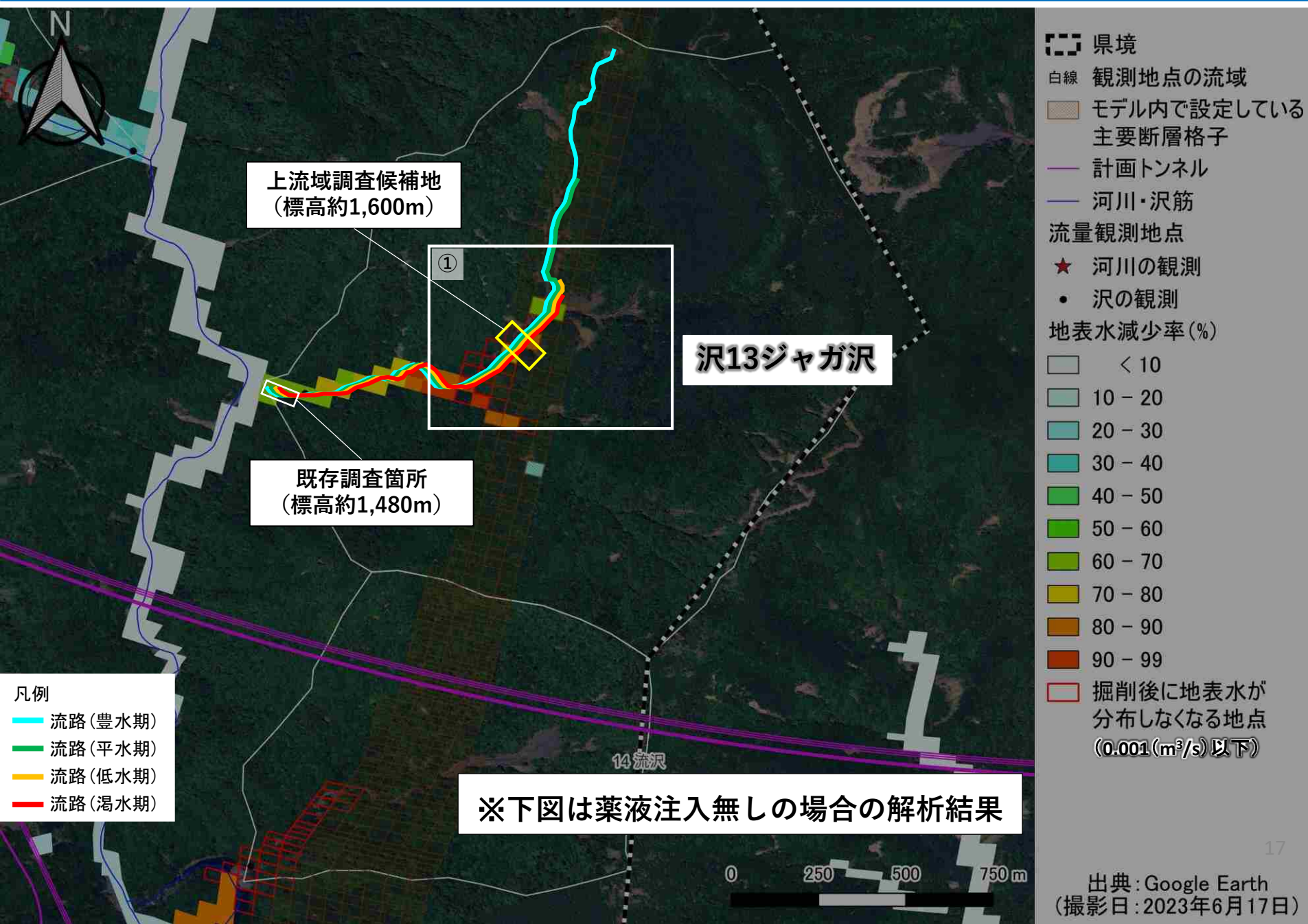
① 沢09悪沢（拡大図）

要件①：渇水期に水線あり	○	水平距離で渇水期上流端から約 5 m 渇水期流路全体の約 10 割
要件②：流量減少予測範囲	○	10~20%減 (上流域モデルで薬液注入無しの場合の結果)
要件③：各生息場類型を含む	○	

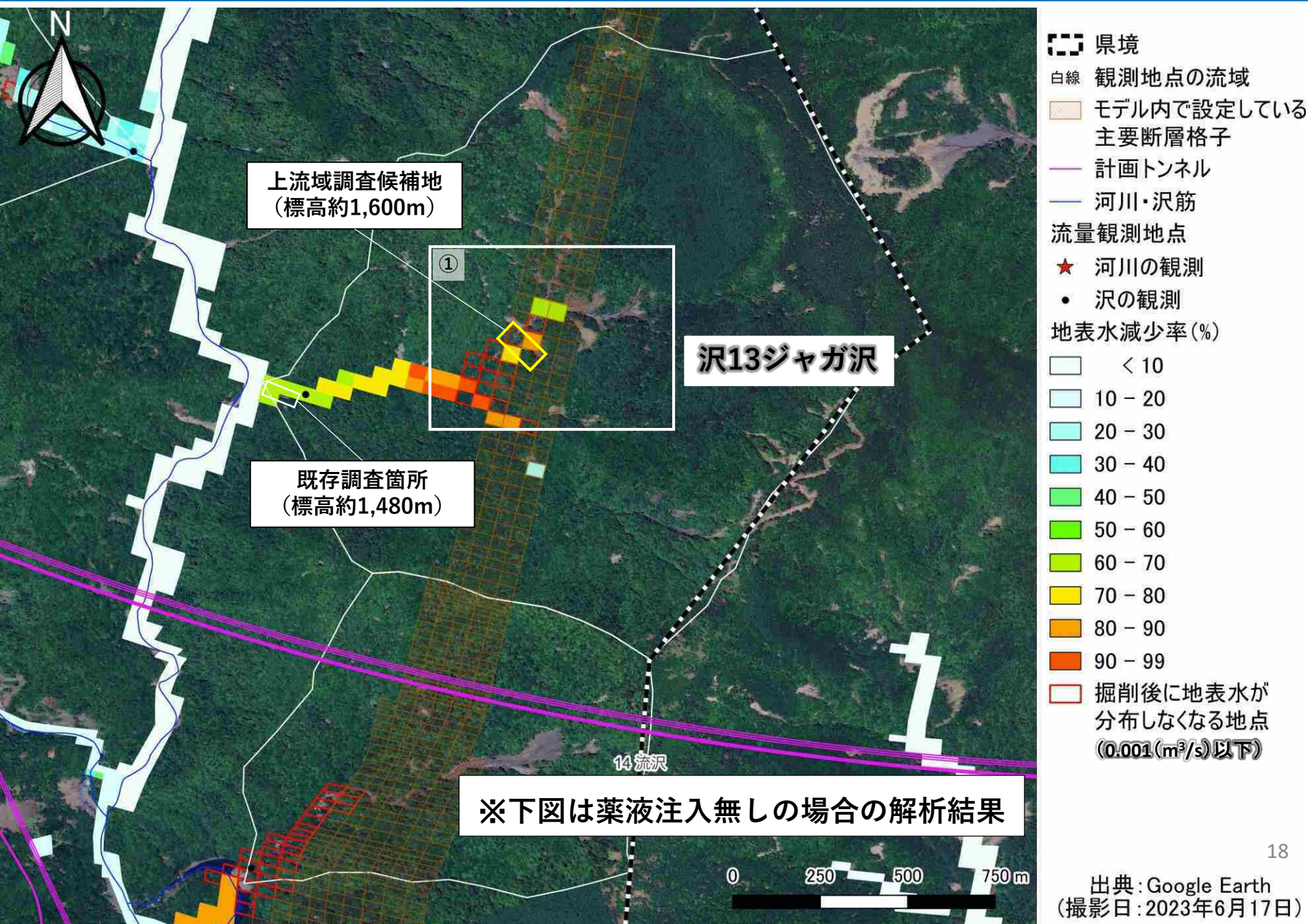


沢13ジャガ沢について

① 渇水期に撮影された衛星画像から水線が確認される範囲



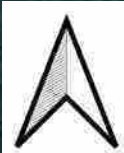
②上流域モデルにより流量減少が予測される範囲



③生息場類型の確認

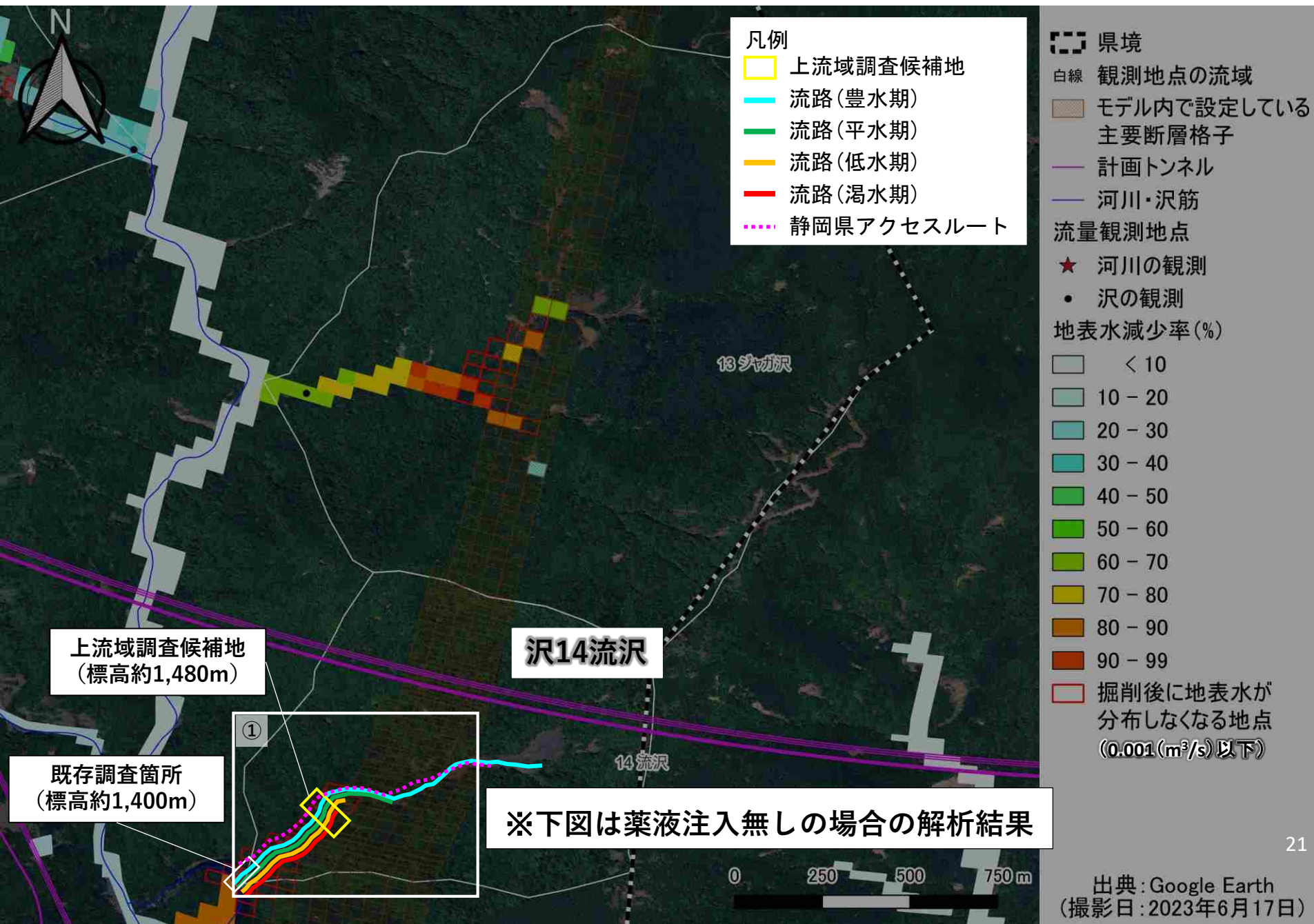
①

沢13ジャガ沢（拡大図）

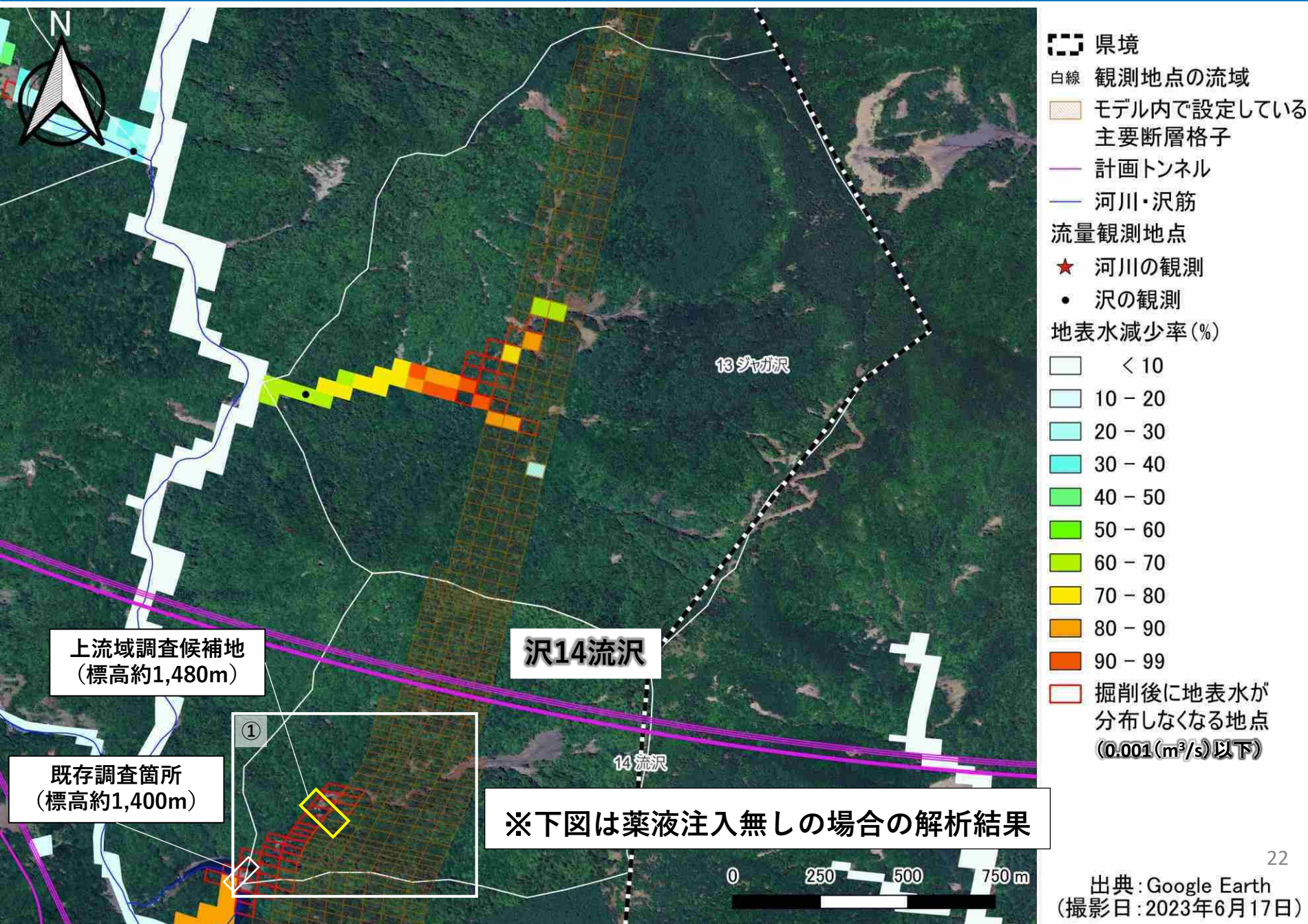


沢14流沢について

① 渇水期に撮影された衛星画像から水線が確認される範囲



②上流域モデルにより流量減少が予測される範囲



③生息場類型の確認

①

沢14流沢（拡大図）

Image © 2024 Airbus [Google](#)

要件①：渇水期に水線あり	○	水平距離で渇水期上流端から約40m 渇水期流路全体の約10割
要件②：流量減少予測範囲	○	掘削後に地表水が分布しなくなる (上流域モデルで薬液注入無しの場合の結果)
要件③：各生息場類型を含む	○	

凡例

小滝

淵

早瀬

平瀬

上流域調査候補地

静岡県アクセスルート

上流域調査候補地
(標高約1,480m)

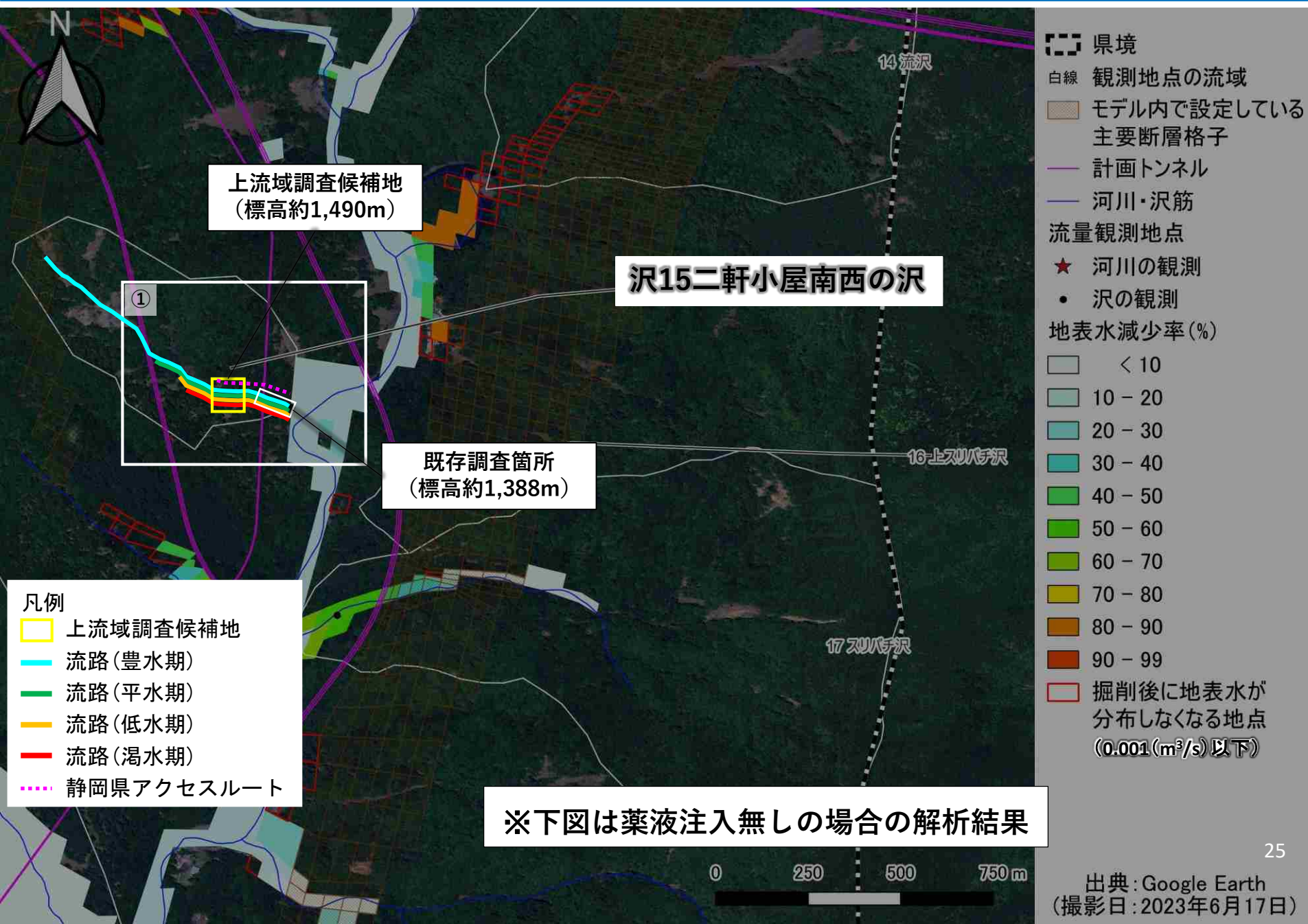
渇水期に水線が確認されている範囲

0

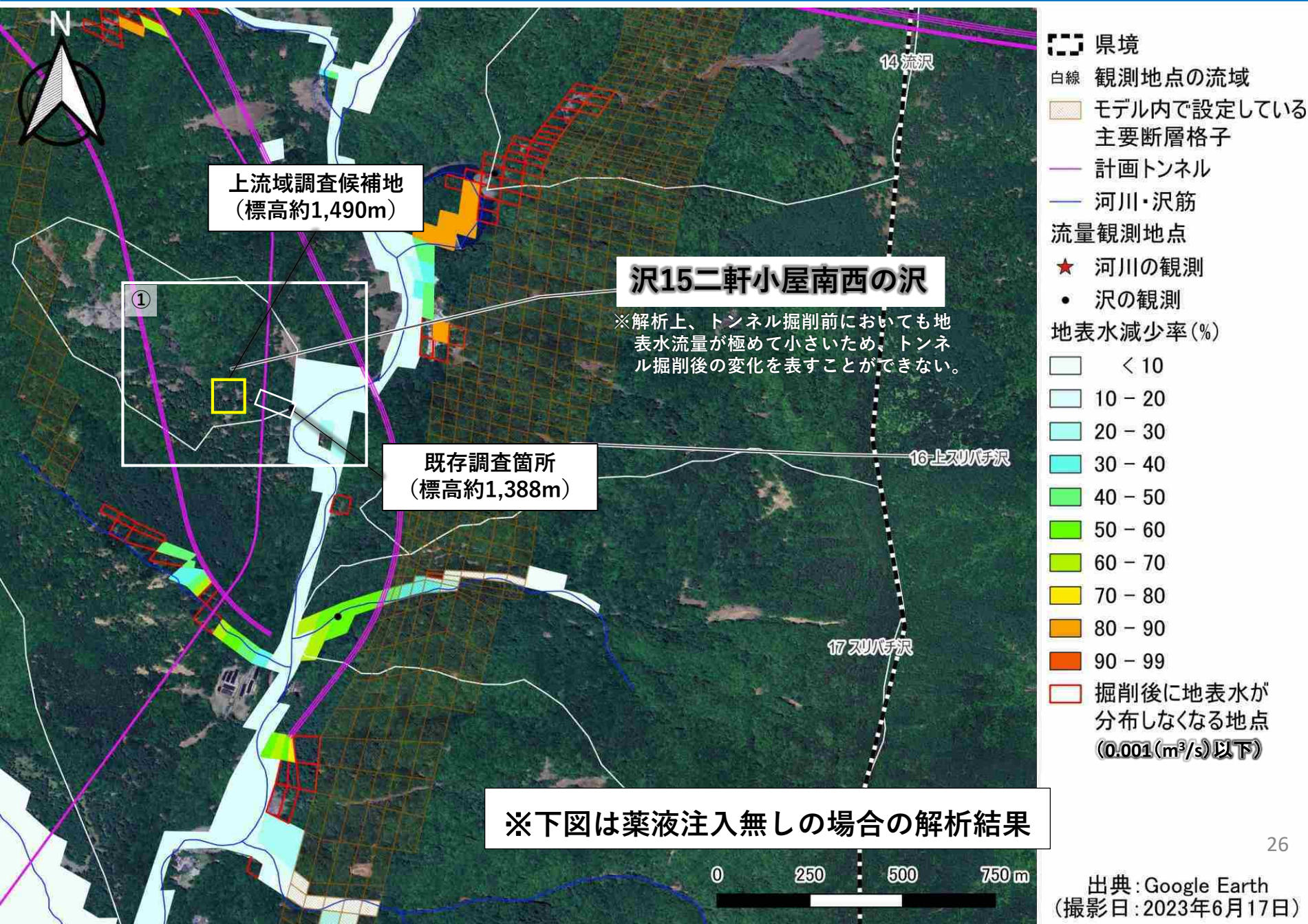
200m

沢15二軒小屋南西の沢について

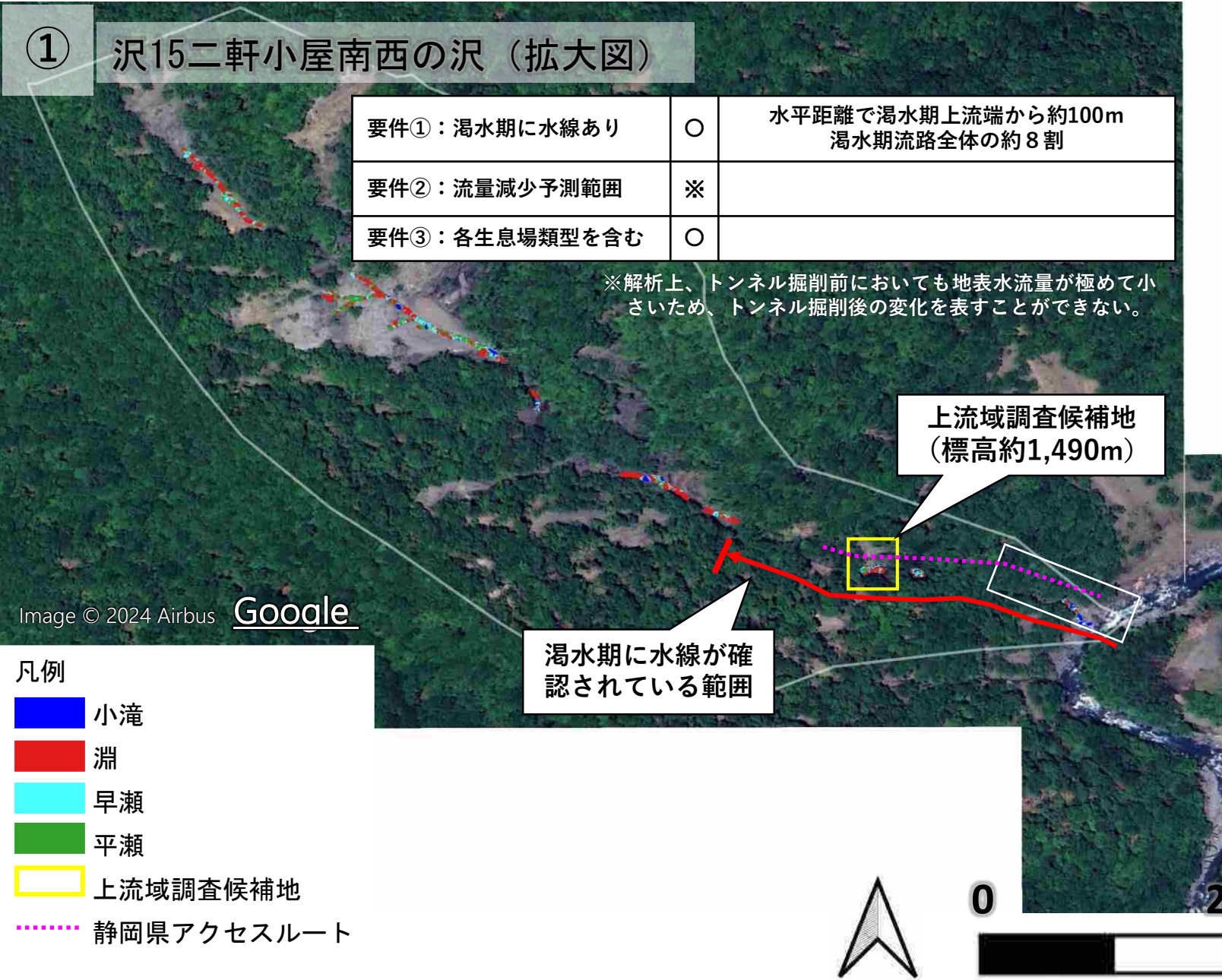
① 渇水期に撮影された衛星画像から水線が確認される範囲



②上流域モデルにより流量減少が予測される範囲

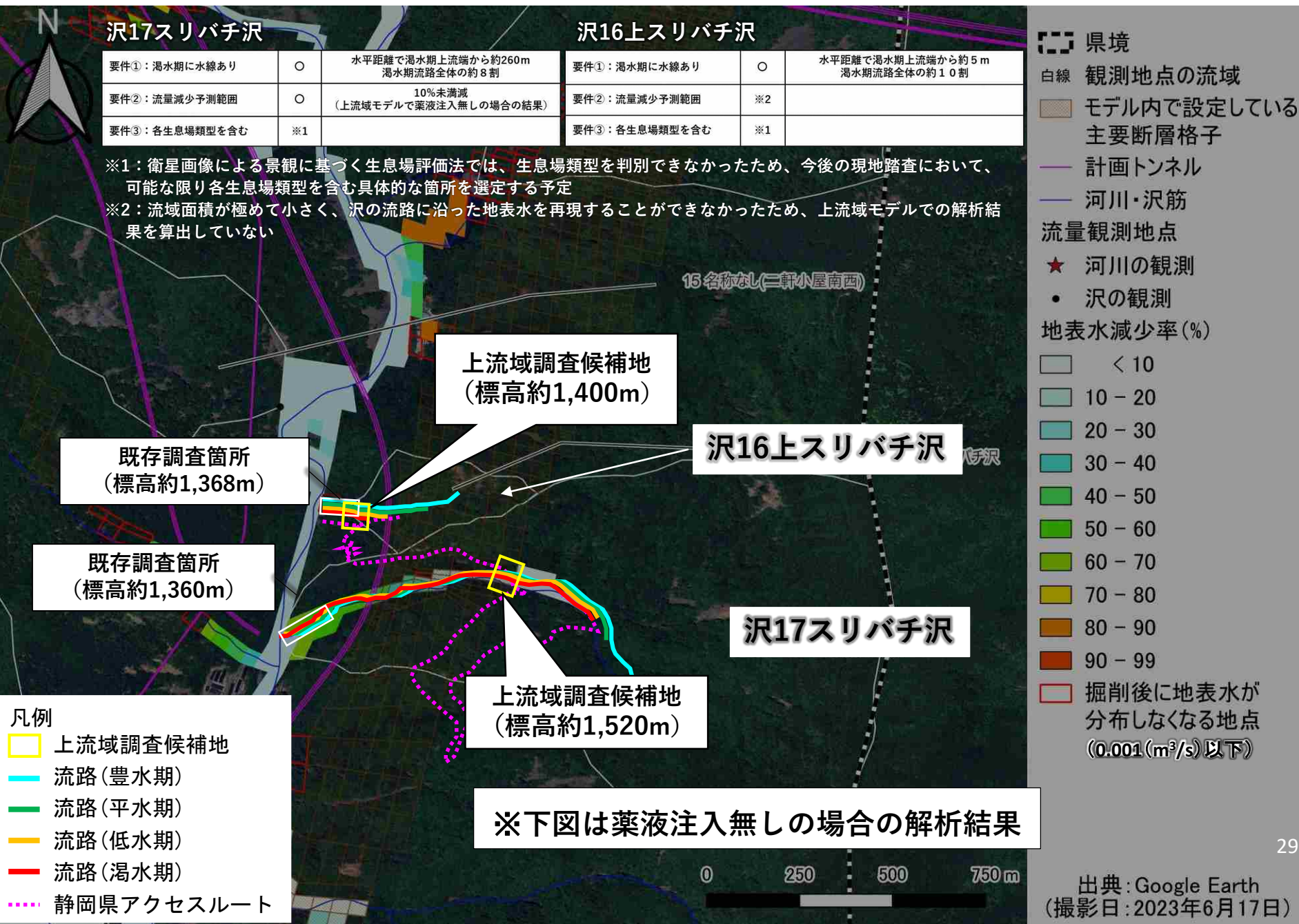


③生息場類型の確認

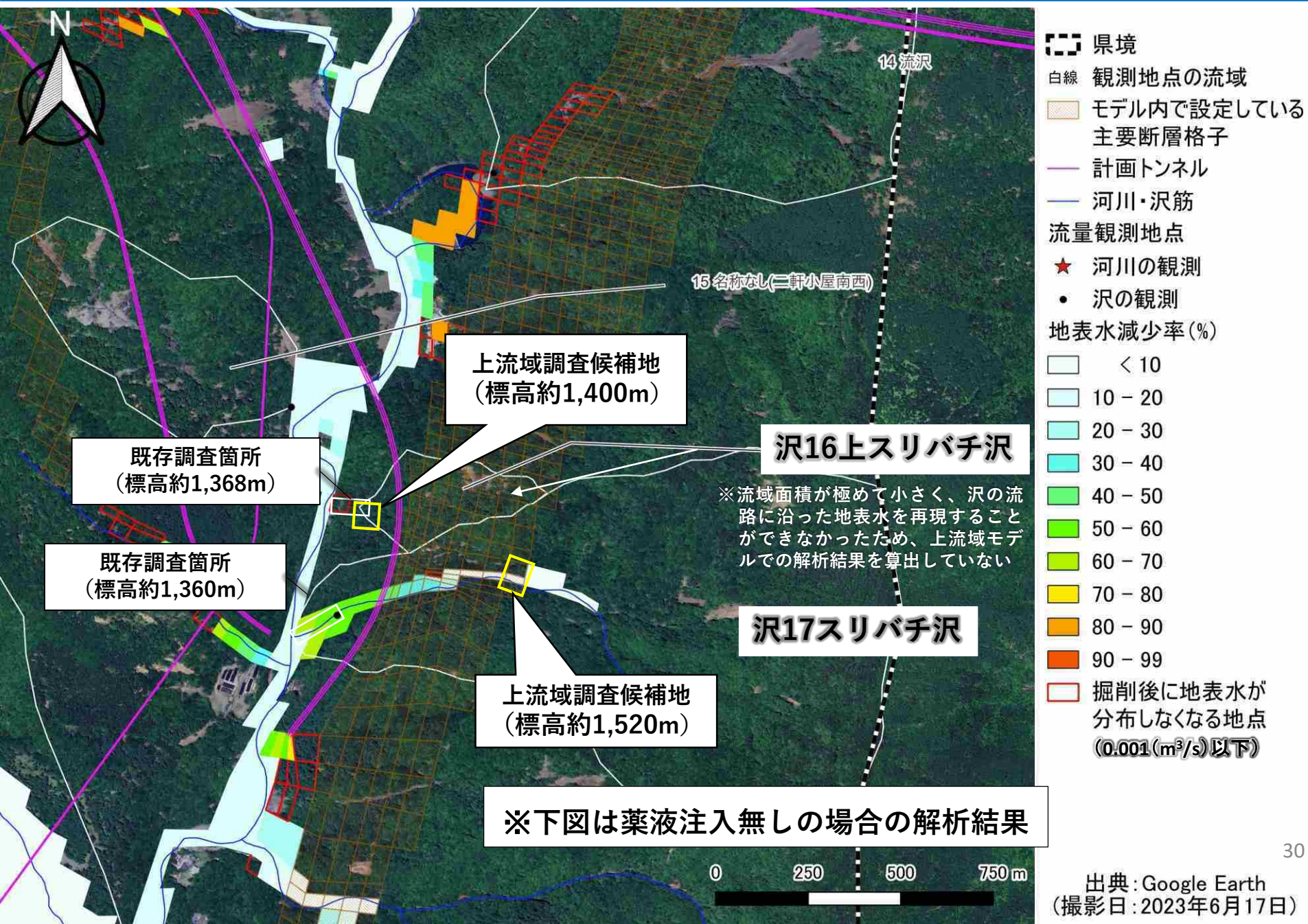


沢16上スリバチ沢、沢17スリバチ沢について

① 渇水期に撮影された衛星画像から水線が確認される範囲

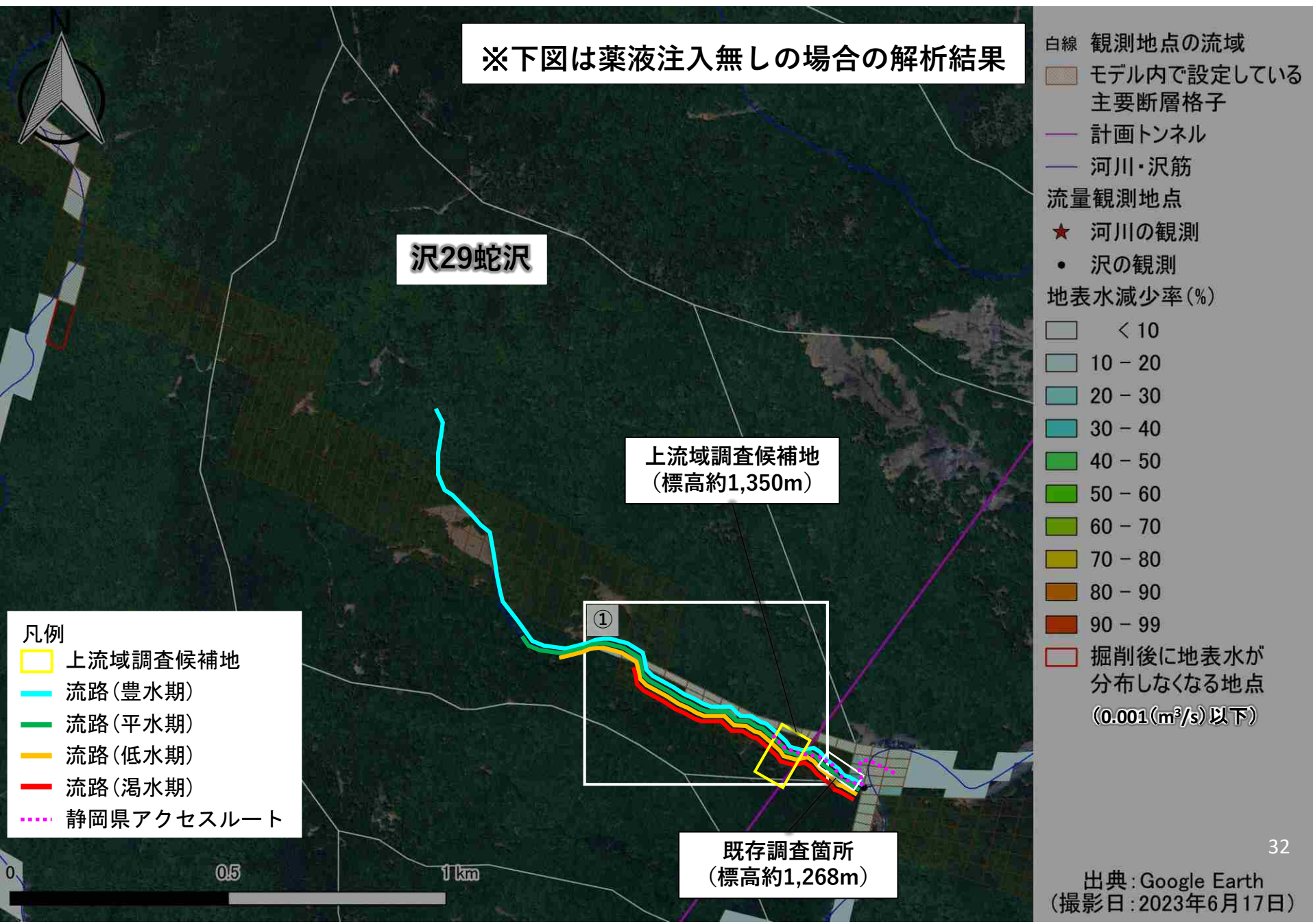


②上流域モデルにより流量減少が予測される範囲

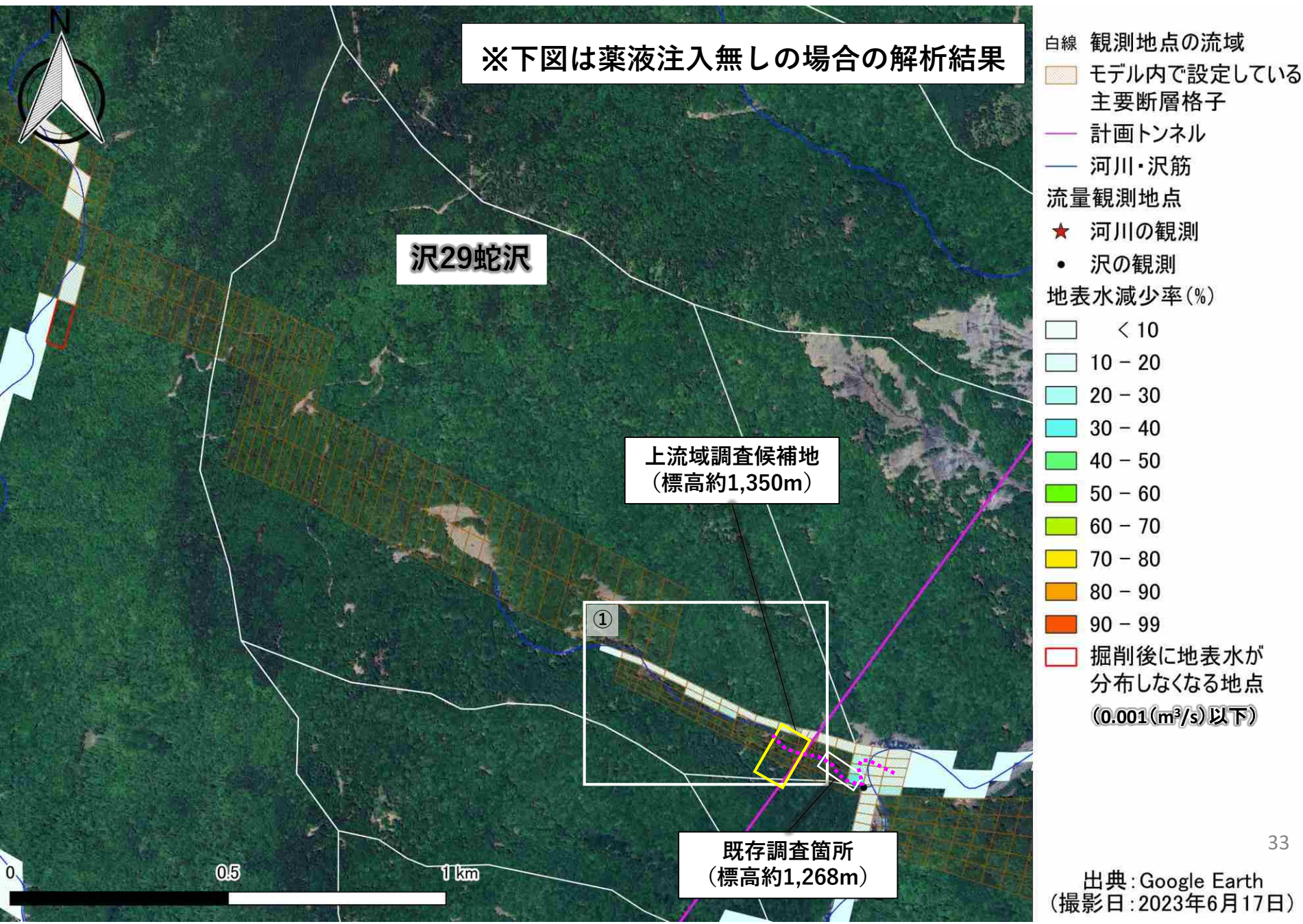


沢29蛇沢について

① 渇水期に撮影された衛星画像から水線が確認される範囲



②上流域モデルにより流量減少が予測される範囲



③生息場類型の確認

①

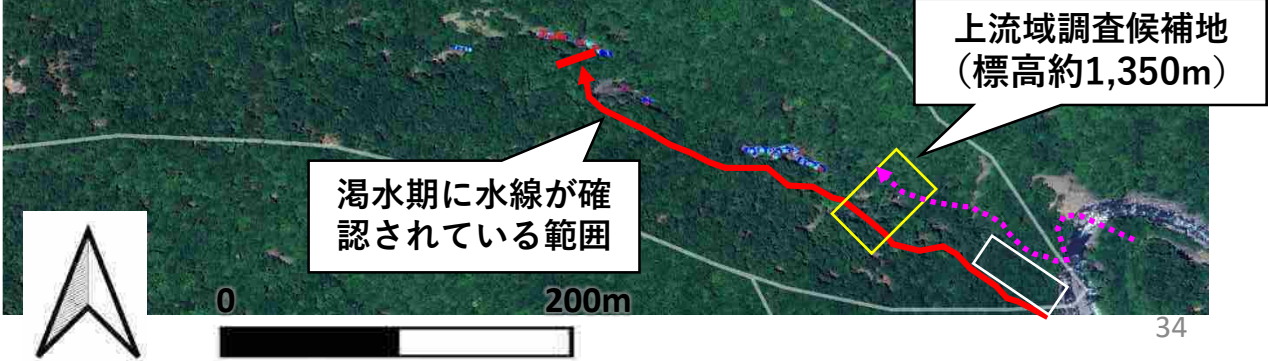
沢29蛇沢（拡大図）

Image © 2024 Airbus Google

要件①：渇水期に水線あり	○	水平距離で渇水期上流端から約810m 渇水期流路全体の約5割
要件②：流量減少予測範囲	○	10%未満減 (上流域モデルで薬液注入無しの場合の結果)
要件③：各生息場類型を含む	※	

※衛星画像による景観に基づく生息場評価法では、生息場類型を判別できなかったため、今後の現地踏査において、可能な限り各生息場類型を含む具体的な箇所を選定する予定

- 凡例
- 小滝
 - 淵
 - 早瀬
 - 平瀬
 - 上流域調査候補地
 - 静岡県アクセスルート



沢01内無沢、沢02魚無沢について

沢01内無沢、沢02魚無沢

※衛星画像による景観に基づく生息場評価法の対象ではなく、生息場類型の判別を実施していないため、今後の現地踏査において、可能な限り各生息場類型を含む具体的な箇所を選定する予定



既存調査箇所
(標高約1,911m)

既存調査箇所
(標高約1,920m)

上流域調査候補地
(標高約2,100m)

上流域調査候補地
(標高約2,150m)

沢02魚無沢

沢01内無沢

凡例

上流域調査候補地

流路(豊水期)

流路(平水期)

流路(低水期)

流路(渇水期)

静岡県アクセスルート

高山裏避難小屋

0 250 500 1,000 m

Image © 2024 Airbus Google

沢03瀬戸沢、沢04上岳沢について

沢03瀬戸沢、沢04上岳沢

※衛星画像による景観に基づく生息場評価法の対象ではなく、生息場類型の判別を実施していないため、今後の現地踏査において、可能な限り各生息場類型を含む具体的な箇所を選定する予定



沢04上岳沢

※上流域調査候補地点が本流との合流部付近になってしまったことから、上流域調査の対象からは除外

上流域調査候補地
(標高約1,880m)

既存調査箇所
(標高約1,842m)

沢03瀬戸沢

既存調査箇所
(標高約1,876m)

上流域調査候補地
(標高約2,300m)

凡例

上流域調査候補地

流路(豊水期)

流路(平水期)

流路(低水期)

流路(渇水期)

静岡県アクセスルート

0 250 500 1,000 m

沢05西小石沢について

沢05西小石沢

※衛星画像による景観に基づく生息場評価法の対象ではなく、生息場類型の判別を実施していないため、今後の現地踏査において、可能な限り各生息場類型を含む具体的な箇所を選定する予定



既存調査箇所
(標高約1,780m)

上流域調査候補地
(標高約1,860m)
※事前踏査時のアクセス範囲を
踏まえて選定

沢05西小石沢

凡例

- 上流域調査候補地
- 流路(豊水期)
- 流路(平水期)
- 流路(低水期)
- 流路(渇水期)
- 静岡県アクセスルート

0 250 500 1,000 m

Image © 2024 Airbus

Google

沢12曲輪沢について

調査地点が本流との合流部付近になってしまうことから、対照区としては適切でないと考えられるため、上流域調査の対象から除外

沢12曲輪沢

沢12曲輪沢



上流域調査候補地
(標高約1,510m)

既存調査箇所
(標高約1,505m)

※上流域調査候補地点が本流との合流部付近になってしまうことから、上流域調査の対象からは除外

凡例

- 上流域調査候補地
- 流路(豊水期)
- 流路(平水期)
- 流路(低水期)
- 流路(渇水期)
- 静岡県アクセスルート

0 250 500 1,000 m

Image © 2024 Airbus

Google

沢18車屋沢、沢21大尻沢について

沢18車屋沢、沢21大尻沢

※衛星画像による景観に基づく生息場評価法の対象ではなく、生息場類型の判別を実施していないため、今後の現地踏査において、可能な限り各生息場類型を含む具体的な箇所を選定する予定

※沢21大尻沢については、既存調査箇所と上流域調査箇所が近接しており、他の沢の調査方針（本流との合流部付近と上流部で調査を実施する）との平仄をとるため、今後、合流部付近での調査の実施を検討する



既存調査箇所
(標高約1,328m)

上流域調査候補地
(標高約1,470m)

沢18車屋沢

既存調査箇所
(標高約1,353m)

上流域調査候補地
(標高約1,400m)

沢21大尻沢

凡例

上流域調査候補地

流路(豊水期)

流路(平水期)

流路(低水期)

流路(渇水期)



沢33北俣・中俣合流部付近について

沢33北俣・中俣合流部（中俣）



上流域調査候補地
(標高約2,320m)

沢33北俣・中俣合流部（中俣）

既存調査箇所
(標高約1,728m)

※衛星画像による景観に基づく生息場評価法の対象ではなく、生息場類型の判別を実施していないため、今後の現地踏査において、可能な限り各生息場類型を含む具体的な箇所を選定する予定

凡例

- 上流域調査候補地
- 流路(豊水期)
- 流路(平水期)
- 流路(低水期)
- 流路(渇水期)
- 静岡県アクセスルート

0 250 500 1,000 m

沢の特徴の整理について

特徴整理のために実施した分析

○流路が樹冠に覆われている程度

（沢全体としての森林の発達度（生産性）を推定する指標。樹冠に覆われている区間が少ないほど、沢の生産性が高いと考えられる）

- ・ 豊水期の衛星写真から、「樹冠に覆われている区間は少ない」、「樹冠に覆われている区間は中程度」、「ほとんど樹冠に覆われている」に分類した。

○豊・平・低・渇水期毎の水線の特徴

（地下水の湧出点を推定する指標。例えば、豊水期だけ水線の始まりの標高が高く、その他の季節の水線の始まりが同様の標高であれば、その他の季節の水線の始まりの位置から、地下水は湧出しやすいと考えられる）

- ・ 衛星写真から、豊水期、平水期、低水期、渇水期の沢本流の水線を確認しタイプ別に分類した。

○支流の影響（調査地点の流況を推定する指標）

- ・ 衛星写真から、豊水期、平水期、低水期、渇水期の支流の水線を確認し、沢本流の渇水期の水線の入り方に、支流の合流の影響があるか否かを分類した。

○流路勾配の状況（調査地点の流況を推定する指標）

- ・ 国土地理院が公開している1mDEMを用いて地形解析を実施し、調査候補地点付近の沢の縦断勾配の状況を整理した。具体的には、調査地点の勾配の変化を調べるための単位を20mとし、調査候補地点付近20mとその前後の20mに関する沢の縦断勾配を整理し、特徴を整理した。

なお、PCAによる類型化の結果、流量減少が予測されている沢と同類型で流量減少が予測されない沢を上流域調査の対象とすることによって、対照区は確保されており、今後、トンネル掘削後の具体的な状況変化に応じて、上記の分析結果も踏まえ、影響の有無の確認を行うことを考えています。

流路が樹冠に覆われている程度

沢全体としての森林の発達程度

樹冠に覆われている区間は少ない（例：蛇拔沢、悪沢）



流路が樹冠に覆われている程度

沢全体としての森林の発達程度

樹冠に覆われている区間は中程度（例：ジャガ沢、流沢）



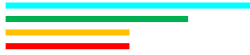
流路が樹冠に覆われている程度

沢全体としての森林の発達程度

ほとんど樹冠に覆われている（例：上スリバチ沢、スリバチ沢）



豊・平・低・渇水期毎の水線の特徴

タイプ	水線のイメージ	特徴
A	TypeA：豊平低渇 	豊・平・低・渇水期の水線の延長はほとんど変化がない。 (渇水期の水線の上端より上流部には、豊水期程の強度の降水があっても地表に湧出することのないような透水性の高い層が存在する可能性がある)
B	TypeB：豊、平低渇 	豊水期は上流側からの水線が確認され、平・低・渇水期の水線の延長はほとんど変化がない。 (平水期、低水期、渇水期の水線の上端より上流部には、地表面付近に豊水期程の強度の降水があると地表に湧出するような透水性をもつ層が存在する可能性がある(その他の季節程の降雨であれば、地表にはあらわれず、地下へ浸透しやすい))
C	TypeC：豊、平、低渇 	豊水期は上流側からの水線が確認され、平水期、低・渇水期の順に水線の延長が短くなる。 (低水期、渇水期の水線の上端より上流部には、地表面付近に豊水期や平水期程の強度の降水があると地表に湧出するような透水性をもつ層が存在する可能性がある(その他の季節程の降雨であれば、地表にはあらわれず、地下へ浸透しやすい))
D	TypeD：豊、平低、渇 	豊水期は上流側からの水線が確認され、平・低水期、渇水期の順に水線の延長が短くなる。 (地表面付近に豊水期や平水期、低水期程の強度の降水があると地表に湧出するような透水性をもつ層が存在する可能性がある(渇水期程の降雨であれば、地表にはあらわれず、地下へ浸透しやすい))
E	TypeE：豊、平、低、渇 	豊水期は上流側からの水線が確認され、平水期、低水期、渇水期の順に水線の延長が短くなる。 (降水量に応じて水線が長くなっており、地表から基盤岩までの厚さが薄く、透水性が一様である可能性がある)

- ・ 衛星写真から、豊水期、平水期、低水期、渇水期の支流の水線を確認し、沢本流の渇水期の水線の入り方に、支流の合流の影響があるか否かを分類した（使用した衛星写真：豊水 H30.7.18 、平水 R3.10.5、低水 R1.12.8、渇水 H31.2.26）。

沢01内無沢 豊水期

上流域調査候補地
(標高約2,150m)



沢01内無沢 平水期

上流域調査候補地
(標高約2,150m)



沢01内無沢 低水期

上流域調査候補地
(標高約2,150m)



沢01内無沢 渇水期

上流域調査候補地
(標高約2,150m)



凡例

流路
伏流

沢02魚無沢 豊水期

上流域調査候補地
(標高約2,100m)



0 250 500 1,000 m

Image © 2024 Airbus Google

沢02魚無沢 平水期

上流域調査候補地
(標高約2,100m)



0 250 500 1,000 m

Image © 2024 Airbus Google

沢02魚無沢 低水期

上流域調査候補地
(標高約2,100m)



0 250 500 1,000 m

Image © 2024 Airbus Google

沢02魚無沢 渇水期

上流域調査候補地
(標高約2,100m)



0 250 500 1,000 m

Image © 2024 Airbus Google

凡例

流路
伏流

沢03瀬戸沢 豊水期

0 250 500 1,000 m



上流域調査候補地
(標高約2,300m)



Image © 2024 Airbus Google

沢03瀬戸沢 平水期

0 250 500 1,000 m



上流域調査候補地
(標高約2,300m)



Image © 2024 Airbus Google

沢03瀬戸沢 低水期

0 250 500 1,000 m



上流域調査候補地
(標高約2,300m)



Image © 2024 Airbus Google

沢03瀬戸沢 渇水期

0 250 500 1,000 m



上流域調査候補地
(標高約2,300m)



Image © 2024 Airbus Google

凡例

流路
伏流

沢04上岳沢 豊水期

0 250 500 1,000 m



上流域調査候補地
(標高約1,880m)

※上流域調査候補地が本流との合流部付近になってしまう
ことから、上流域調査の対象からは除外

Image © 2024 Airbus Google

沢04上岳沢 平水期

0 250 500 1,000 m



上流域調査候補地
(標高約1,880m)

※上流域調査候補地が本流との合流部付近になってしまう
ことから、上流域調査の対象からは除外

Image © 2024 Airbus Google

沢04上岳沢 低水期

0 250 500 1,000 m



上流域調査候補地
(標高約1,880m)

※上流域調査候補地が本流との合流部付近になってしまう
ことから、上流域調査の対象からは除外

Image © 2024 Airbus Google

沢04上岳沢 渇水期

0 250 500 1,000 m



上流域調査候補地
(標高約1,880m)

凡例

流路
伏流

※上流域調査候補地が本流との合流部付近になってしまう
ことから、上流域調査の対象からは除外

Image © 2024 Airbus Google

沢05西小石沢 豊水期

0 250 500 1,000 m



沢05西小石沢 平水期

0 250 500 1,000 m



沢05西小石沢 低水期

0 250 500 1,000 m



沢05西小石沢 渇水期

0 250 500 1,000 m



沢07蛇抜沢 豊水期

上流域調査候補地
(標高約2,020m)



沢07蛇抜沢 平水期

上流域調査候補地
(標高約2,020m)



沢07蛇抜沢 低水期

上流域調査候補地
(標高約2,020m)



沢07蛇抜沢 渇水期

上流域調査候補地
(標高約2,020m)



沢09悪沢 豊水期

0 250 500 1,000 m



上流域調査候補地
(標高約1,980m)

Image © 2024 Airbus Google

沢09悪沢 平水期

0 250 500 1,000 m



上流域調査候補地
(標高約1,980m)

Image © 2024 Airbus Google

沢09悪沢 低水期

0 250 500 1,000 m



上流域調査候補地
(標高約1,980m)

Image © 2024 Airbus Google

沢09悪沢 渇水期

0 250 500 1,000 m



上流域調査候補地
(標高約1,980m)

凡例

流路
伏流

Image © 2024 Airbus Google

沢12曲輪沢 豊水期

0 250 500 1,000 m



沢12曲輪沢 平水期

0 250 500 1,000 m



沢12曲輪沢 低水期

0 250 500 1,000 m



沢12曲輪沢 渇水期

0 250 500 1,000 m



沢13ジャガ沢 豊水期

0 250 500 1,000 m

上流域調査候補地
(標高約1,600m)



沢13ジャガ沢 平水期

0 250 500 1,000 m

上流域調査候補地
(標高約1,600m)



沢13ジャガ沢 低水期

0 250 500 1,000 m

上流域調査候補地
(標高約1,600m)



沢13ジャガ沢 渇水期

0 250 500 1,000 m

上流域調査候補地
(標高約1,600m)



凡例

流路
伏流

沢14流沢 豊水期



沢14流沢 平水期



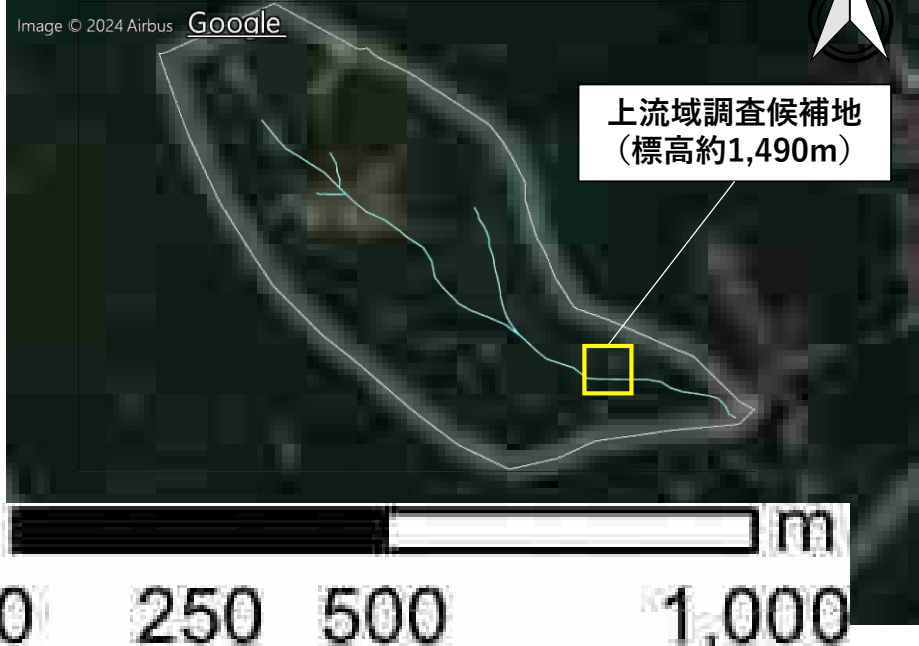
沢14流沢 低水期



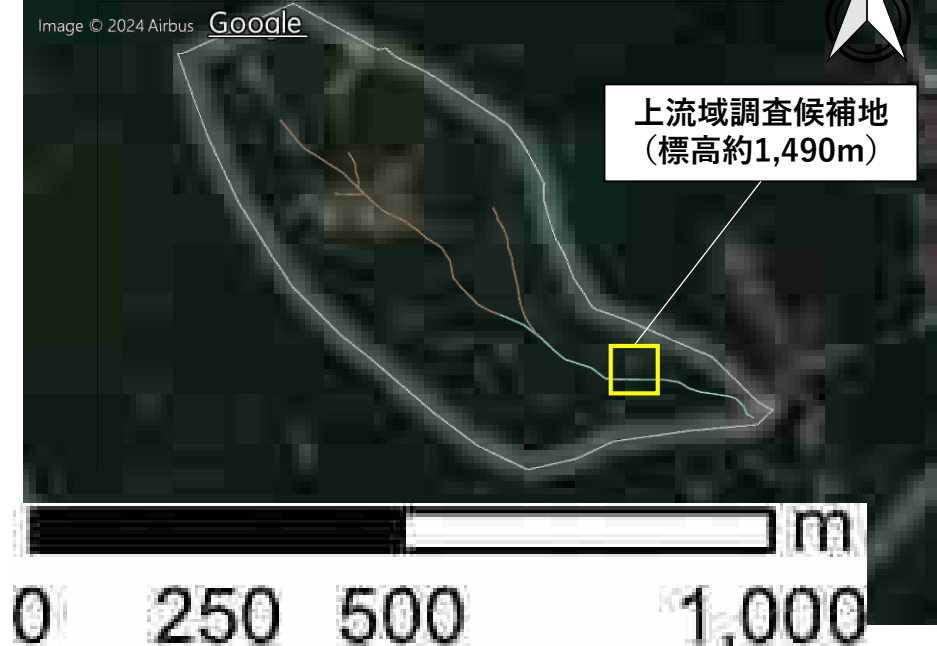
沢14流沢 渇水期



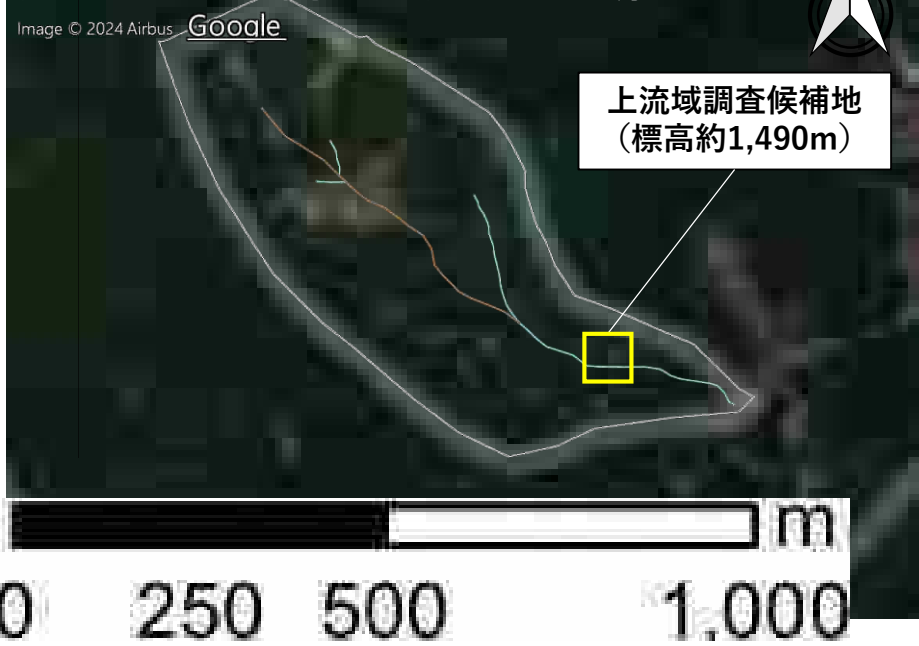
沢15二軒小屋南西の沢 豊水期



沢15二軒小屋南西の沢 平水期



沢15二軒小屋南西の沢 低水期



沢15二軒小屋南西の沢 渇水期



沢16上スリバチ沢 豊水期

Image © 2024 Airbus Google

上流域調査候補地
(標高約1,400m)



沢16上スリバチ沢 平水期

Image © 2024 Airbus Google

上流域調査候補地
(標高約1,400m)



沢16上スリバチ沢 低水期

Image © 2024 Airbus Google

上流域調査候補地
(標高約1,400m)



沢16上スリバチ沢 渇水期

Image © 2024 Airbus Google

上流域調査候補地
(標高約1,400m)



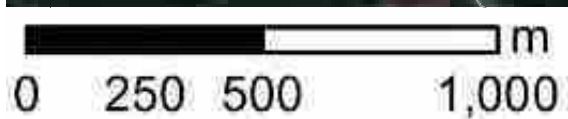
凡例

流路
伏流

沢17スリバチ沢 豊水期

Image © 2024 Airbus Google

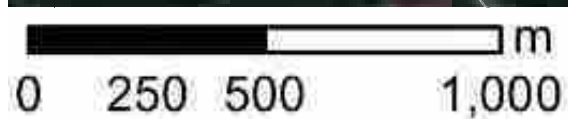
上流域調査候補地
(標高約1,520m)



沢17スリバチ沢 平水期

Image © 2024 Airbus Google

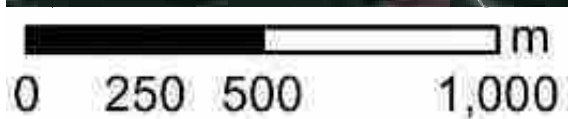
上流域調査候補地
(標高約1,520m)



沢17スリバチ沢 低水期

Image © 2024 Airbus Google

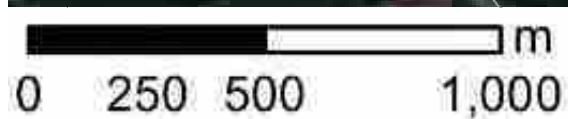
上流域調査候補地
(標高約1,520m)



沢17スリバチ沢 渇水期

Image © 2024 Airbus Google

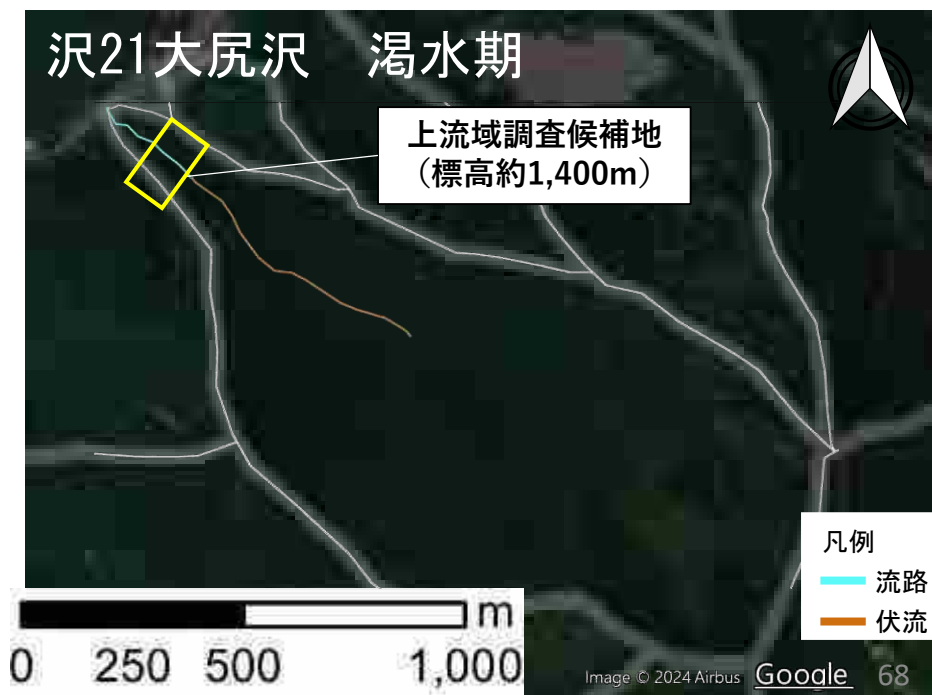
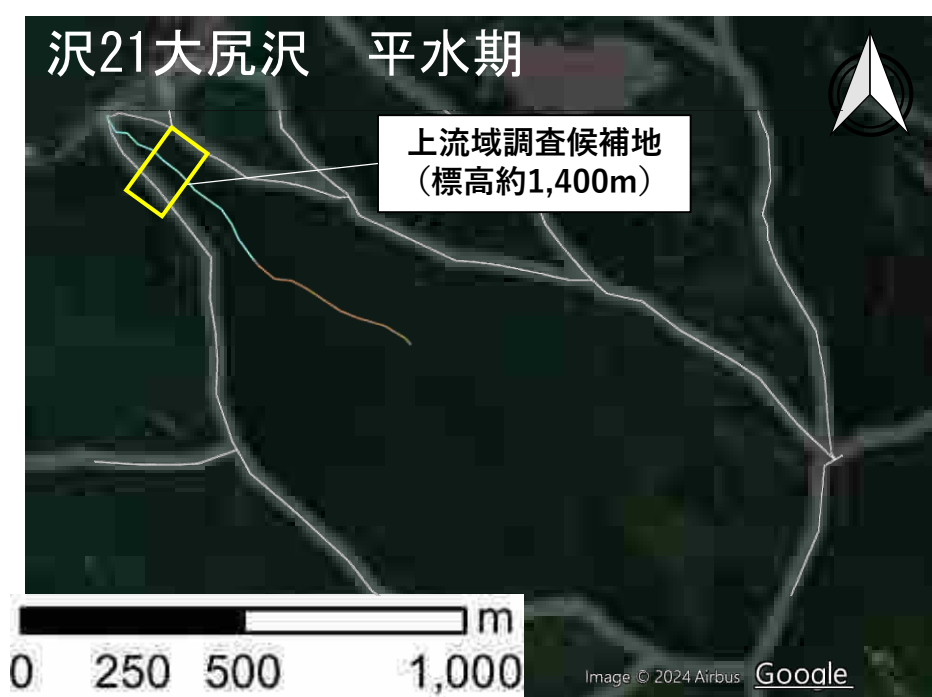
上流域調査候補地
(標高約1,520m)



凡例

流路
伏流



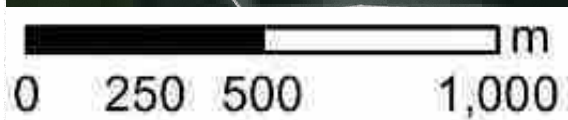


沢29蛇沢 豊水期

Image © 2024 Airbus Google



上流域調査候補地
(標高約1,350m)

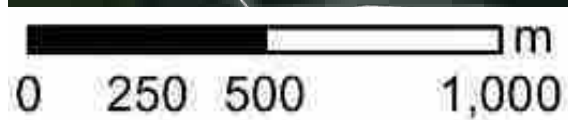


沢29蛇沢 平水期

Image © 2024 Airbus Google



上流域調査候補地
(標高約1,350m)

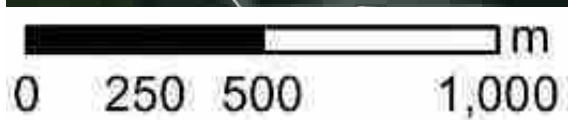


沢29蛇沢 低水期

Image © 2024 Airbus Google



上流域調査候補地
(標高約1,350m)



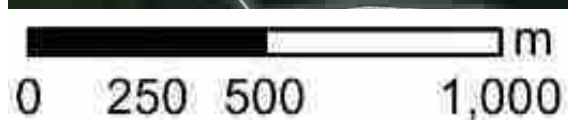
沢29蛇沢 渇水期

Image © 2024 Airbus Google



上流域調査候補地
(標高約1,350m)

凡例
— 流路
— 伏流

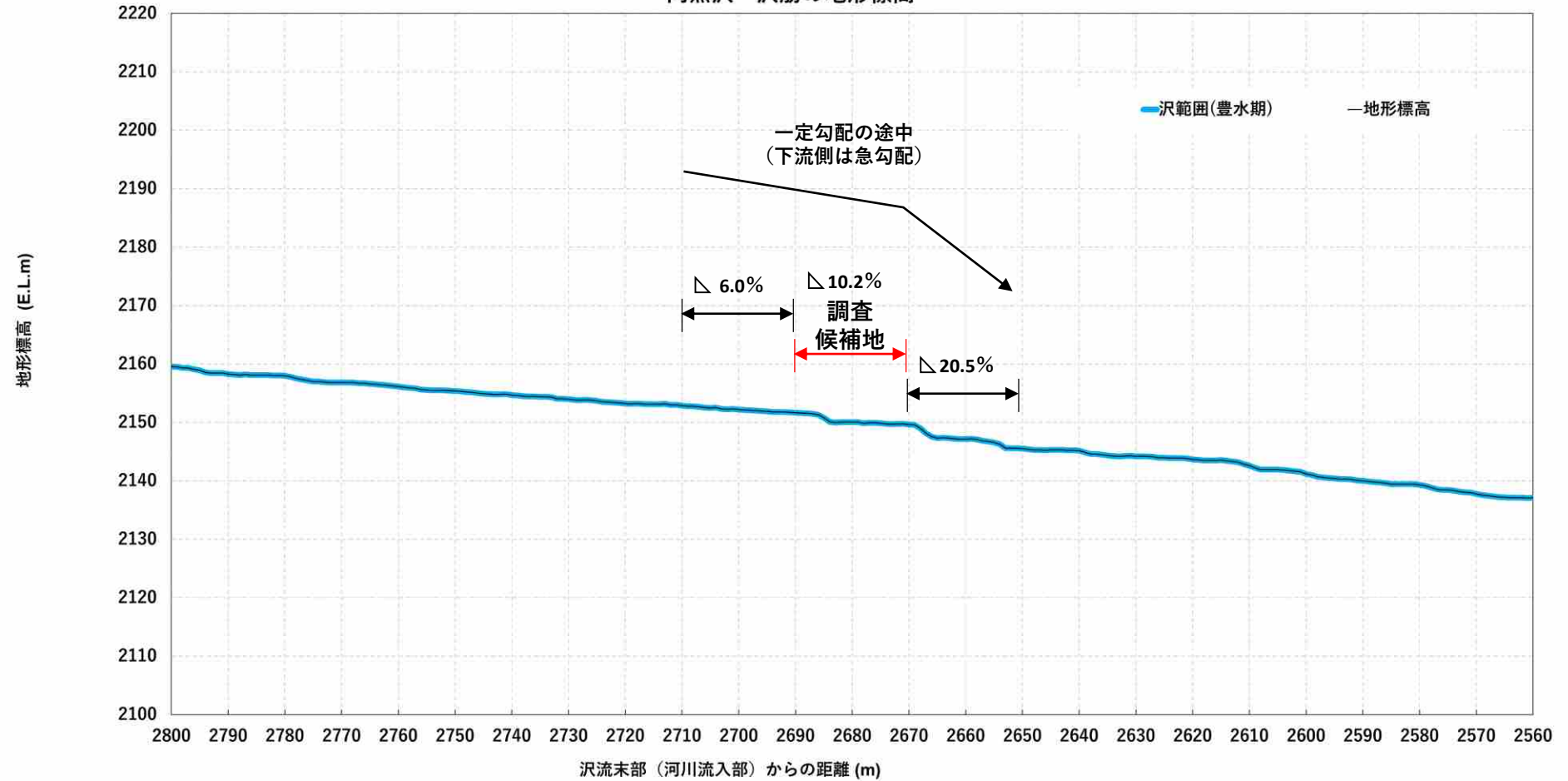




- ・ 国土地理院が公開している1mDEMを用いて地形解析を実施し、調査地点における沢の縦断勾配の状況を整理した。
- ・ 具体的には、調査地点の勾配の変化を調べるための単位を20mとし、調査候補地点付近20mとその前後の20mに関する沢の縦断勾配を整理し、特徴を整理した。

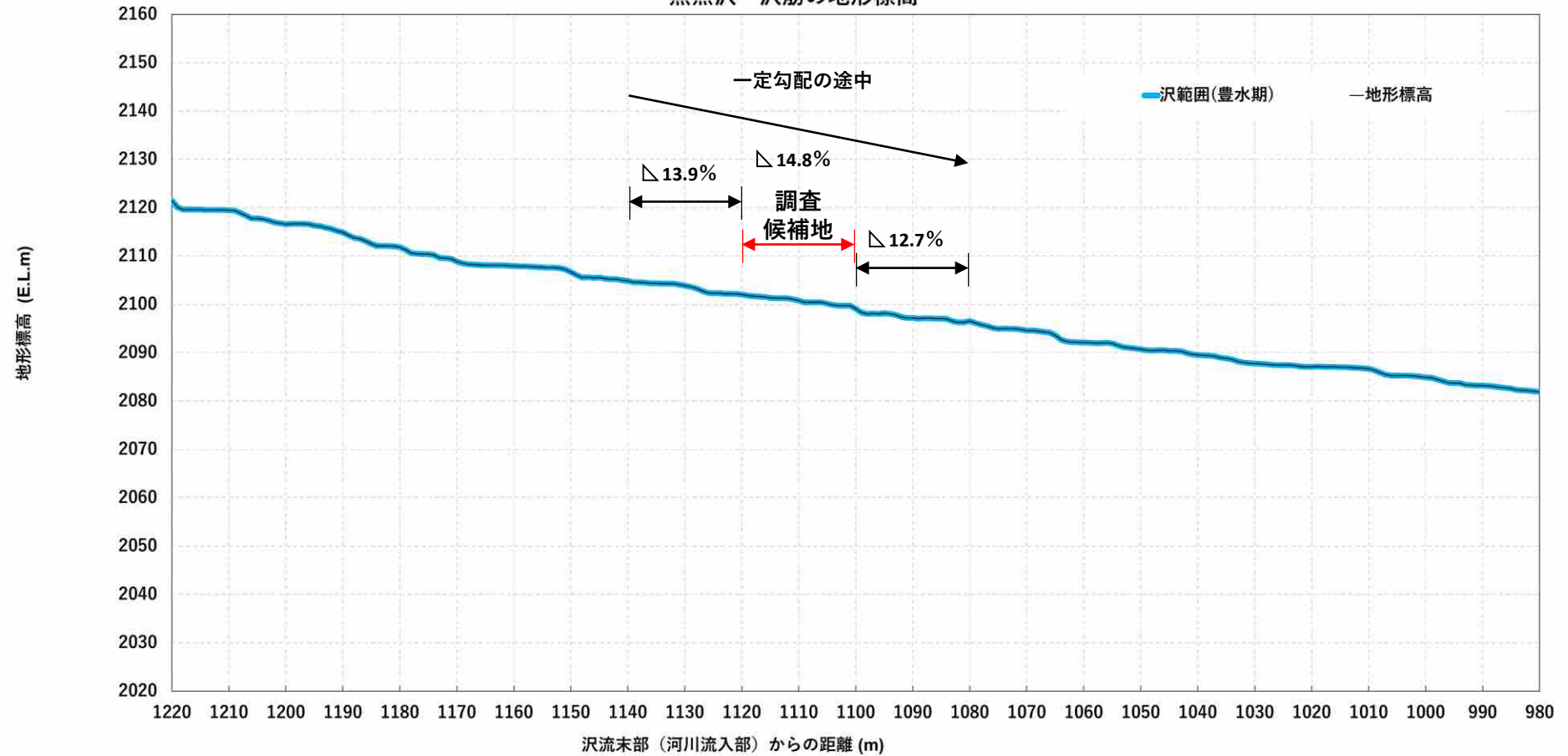
01 内無沢

内無沢 沢筋の地形標高



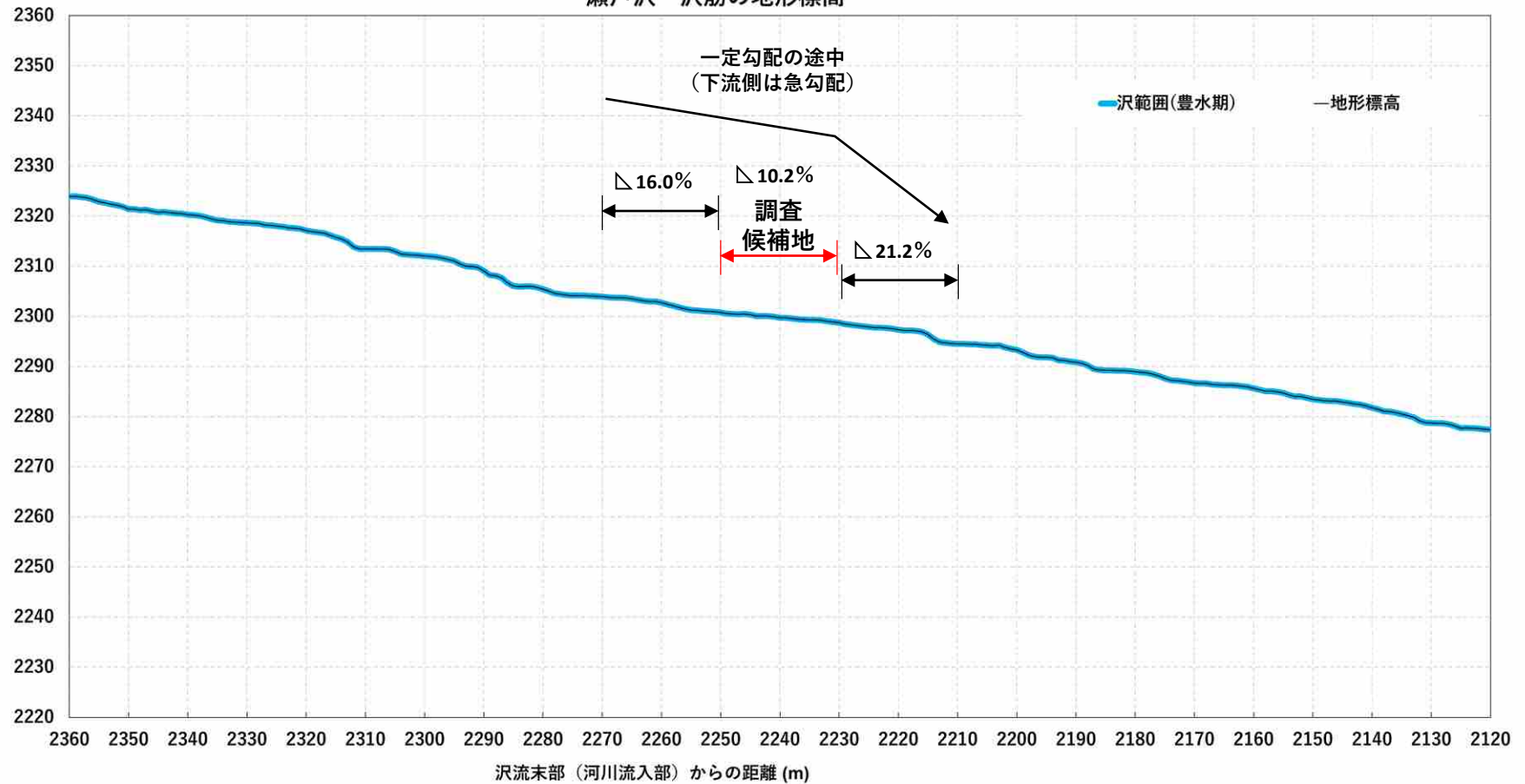
02 魚無沢

魚無沢 沢筋の地形標高



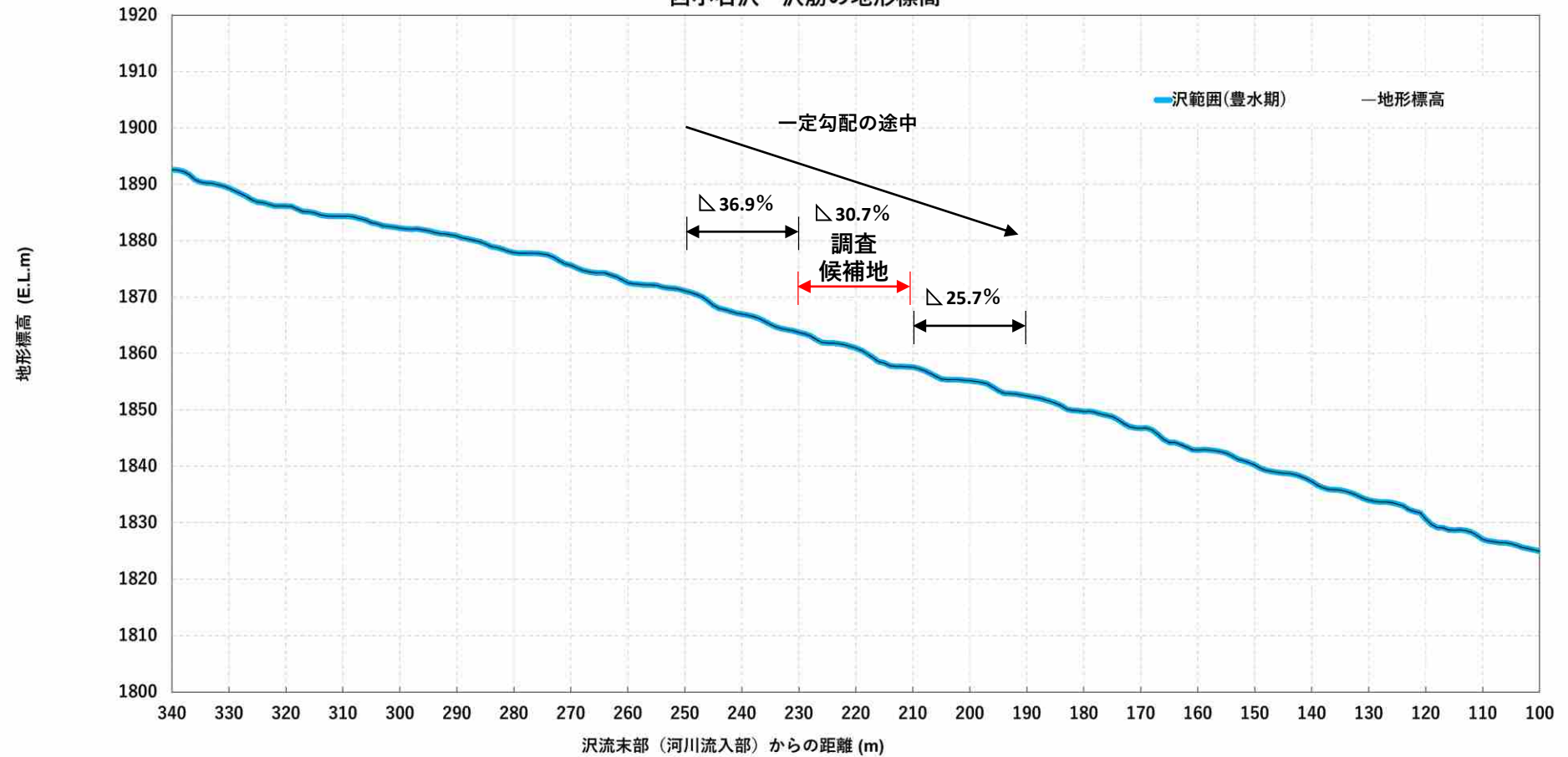
03 瀬戸沢

瀬戸沢 沢筋の地形標高



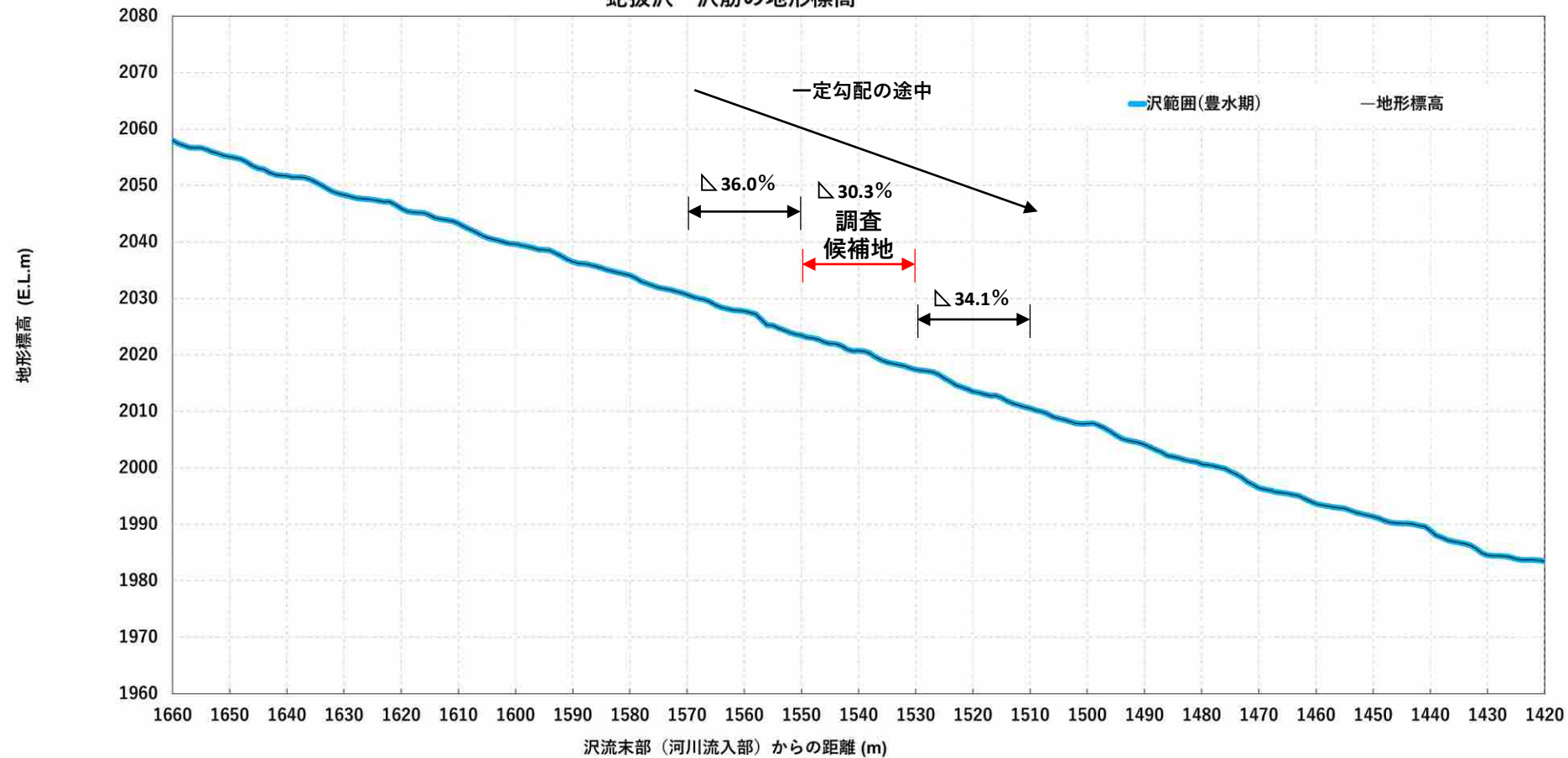
05 西小石沢

西小石沢 沢筋の地形標高

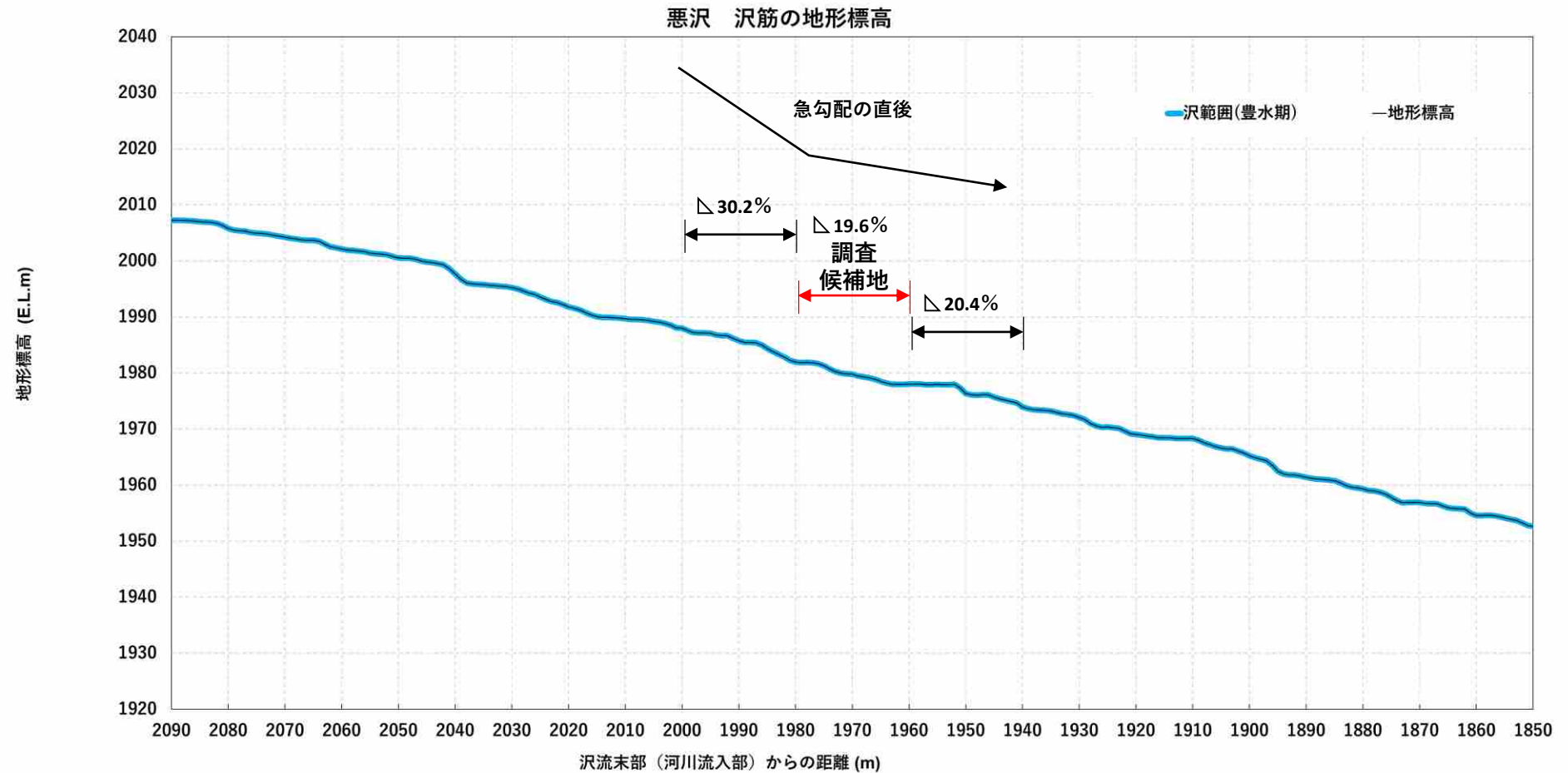


07 蛇抜沢

蛇抜沢 沢筋の地形標高

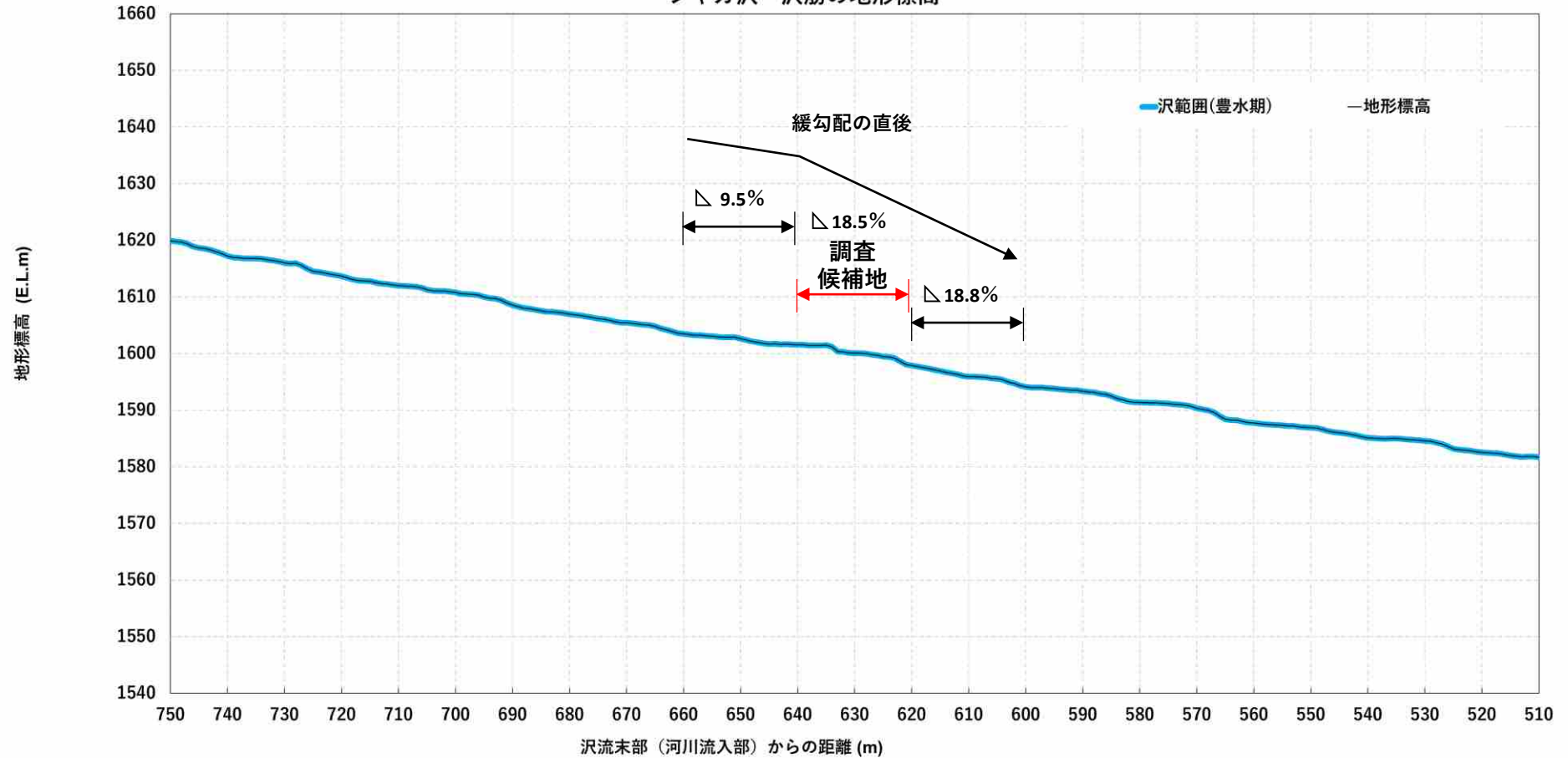


09 悪沢



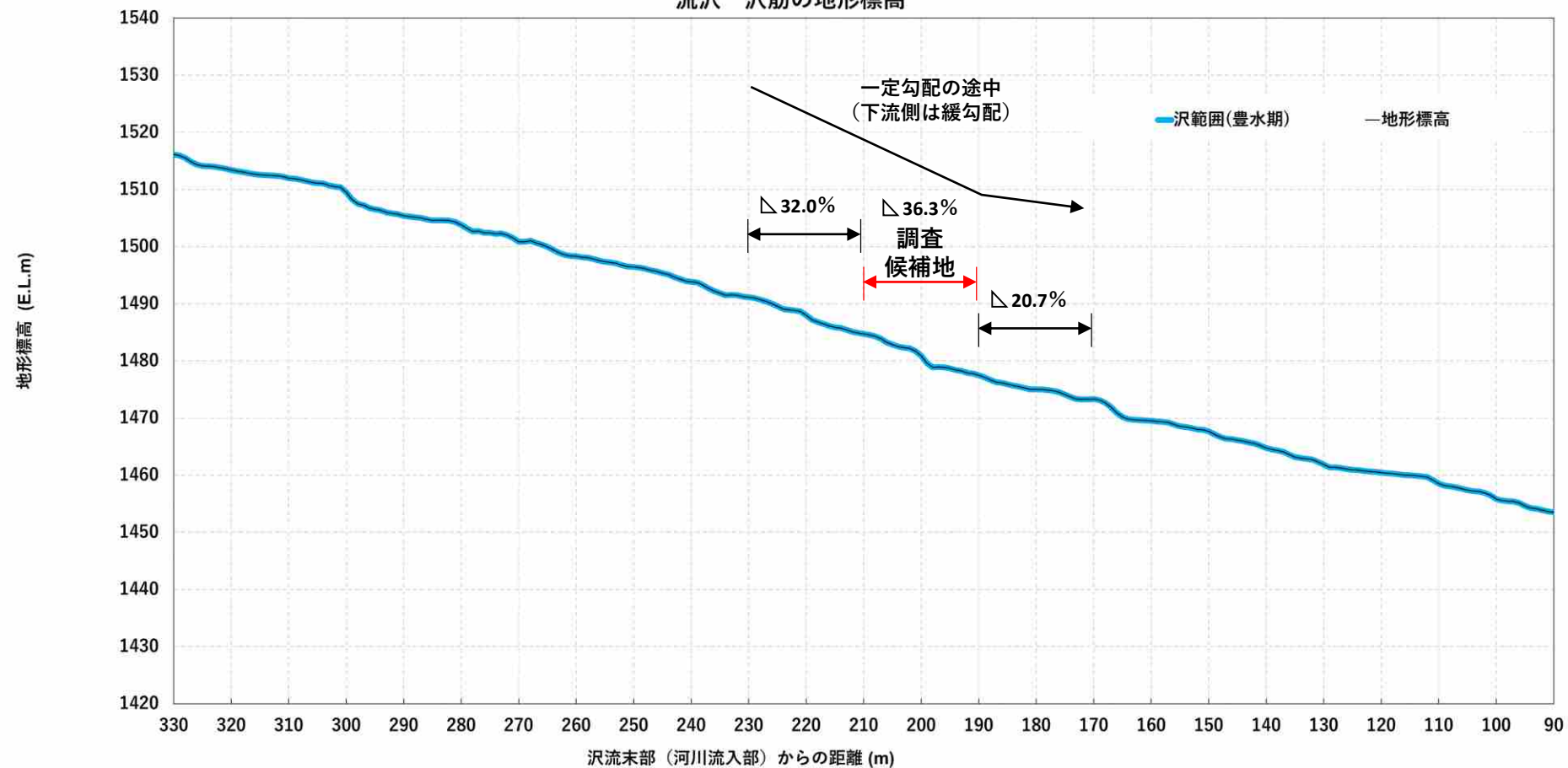
13 ジャガ沢

ジャガ沢 沢筋の地形標高

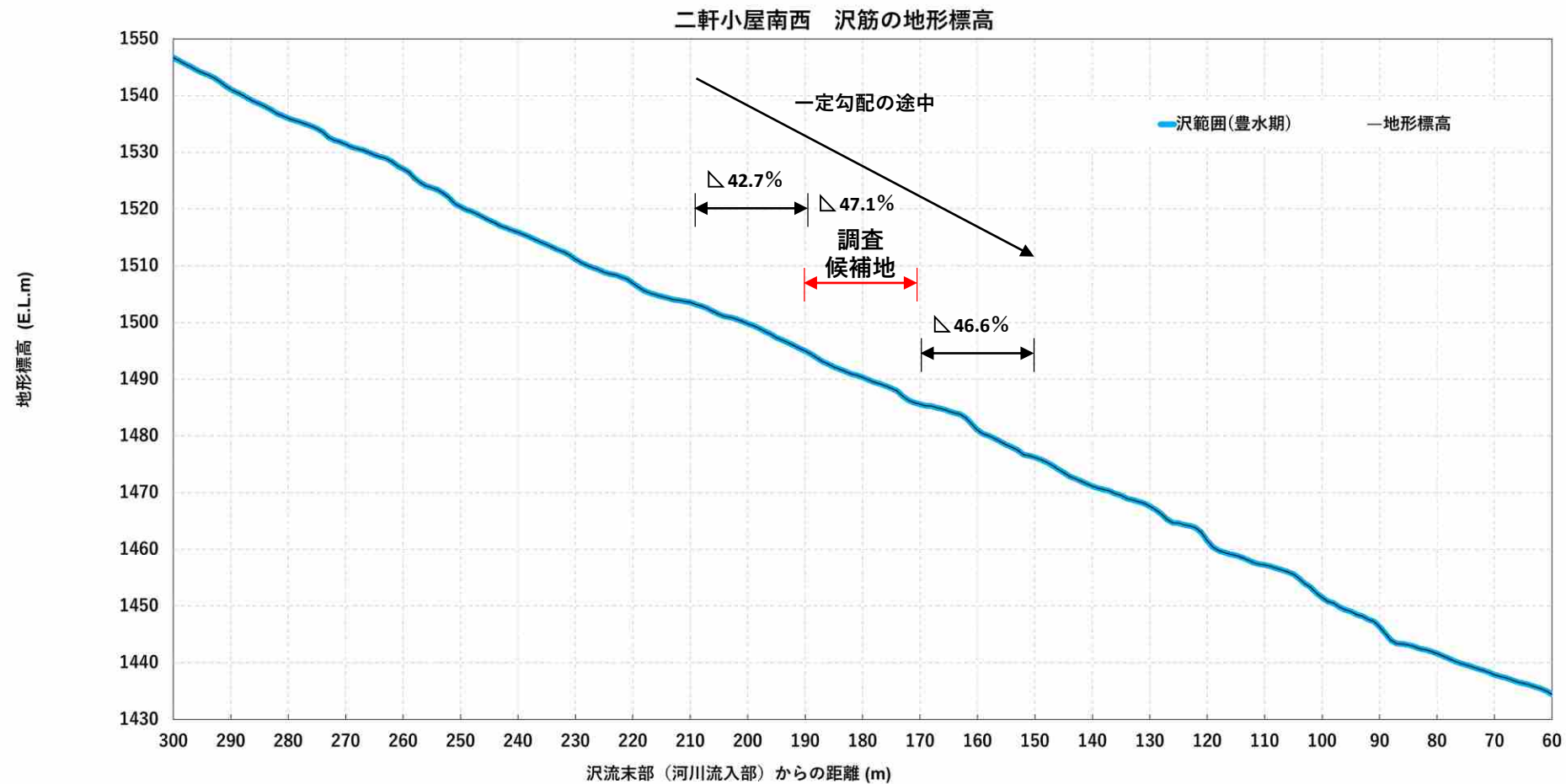


14 流沢

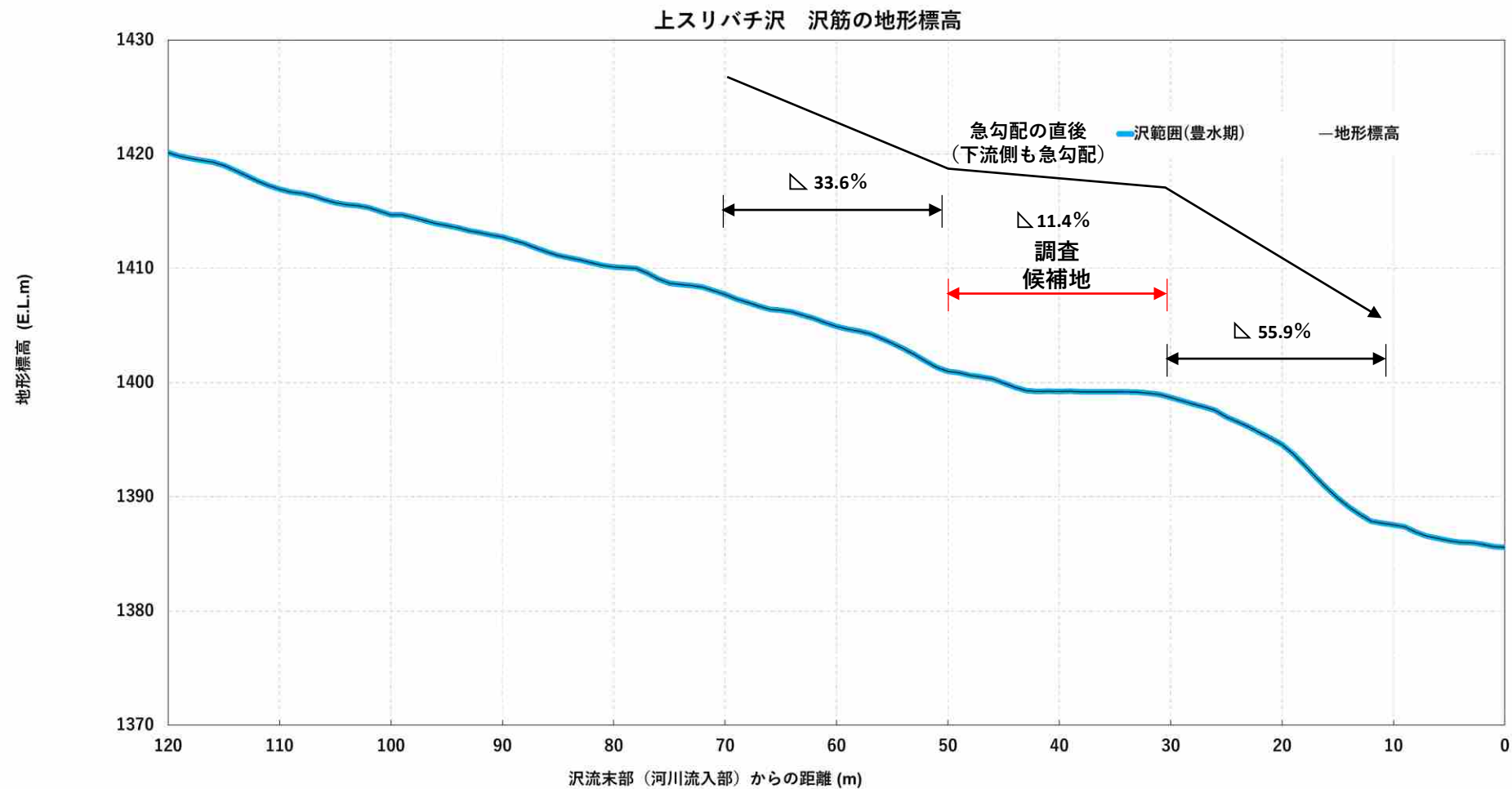
流沢 沢筋の地形標高



15 二軒小屋南西の沢

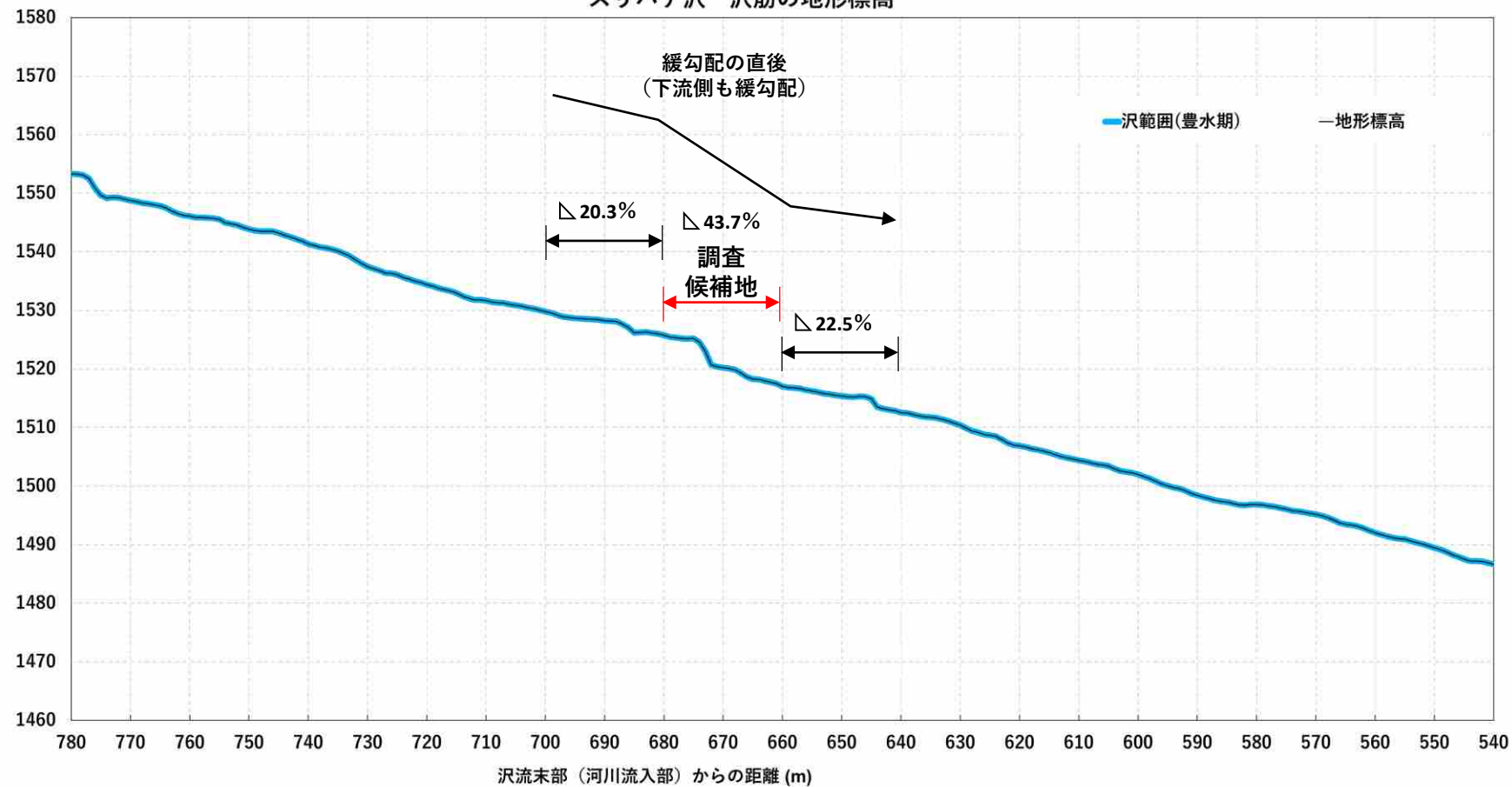


16 上スリバチ沢

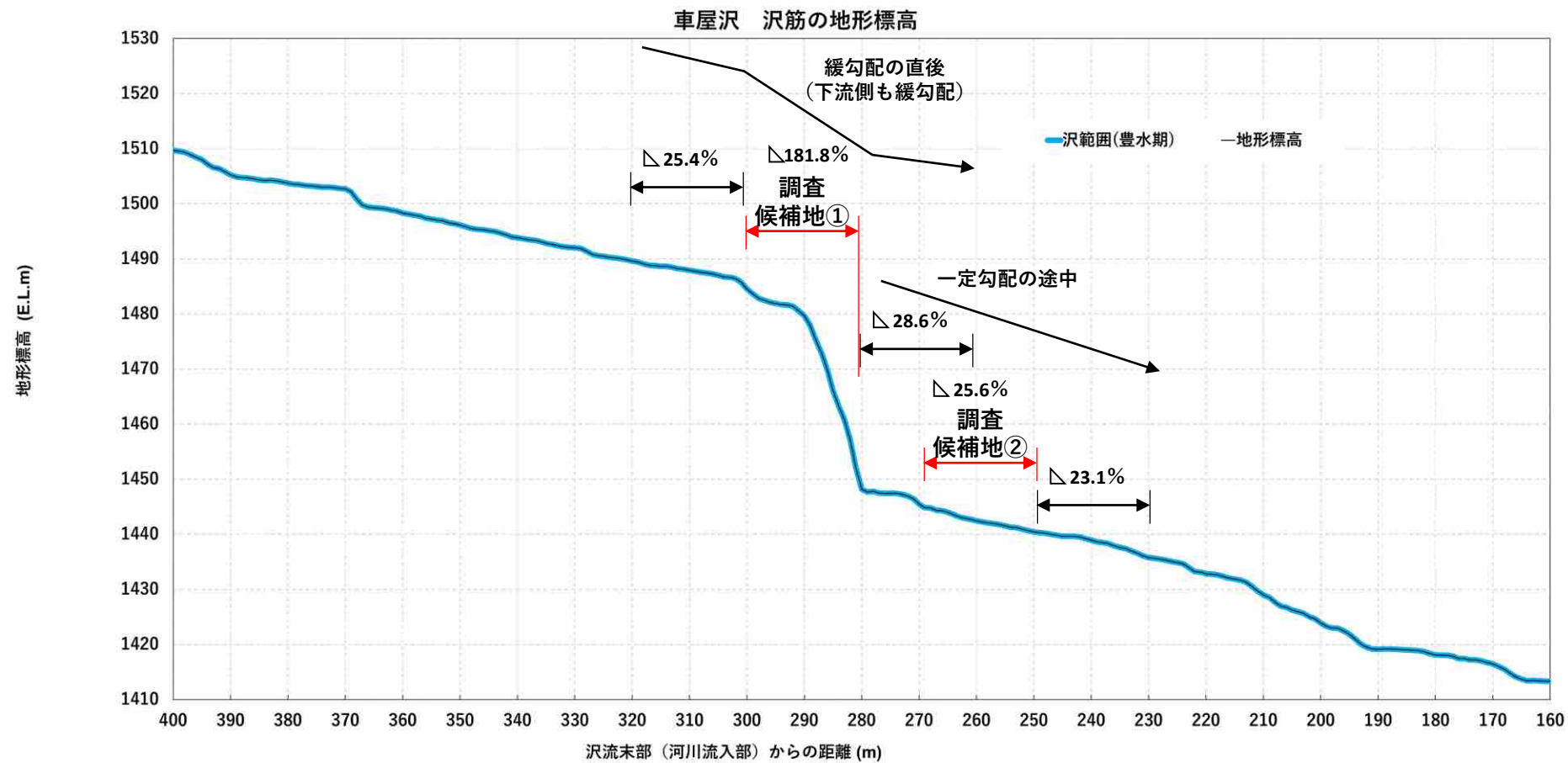


17 スリバチ沢

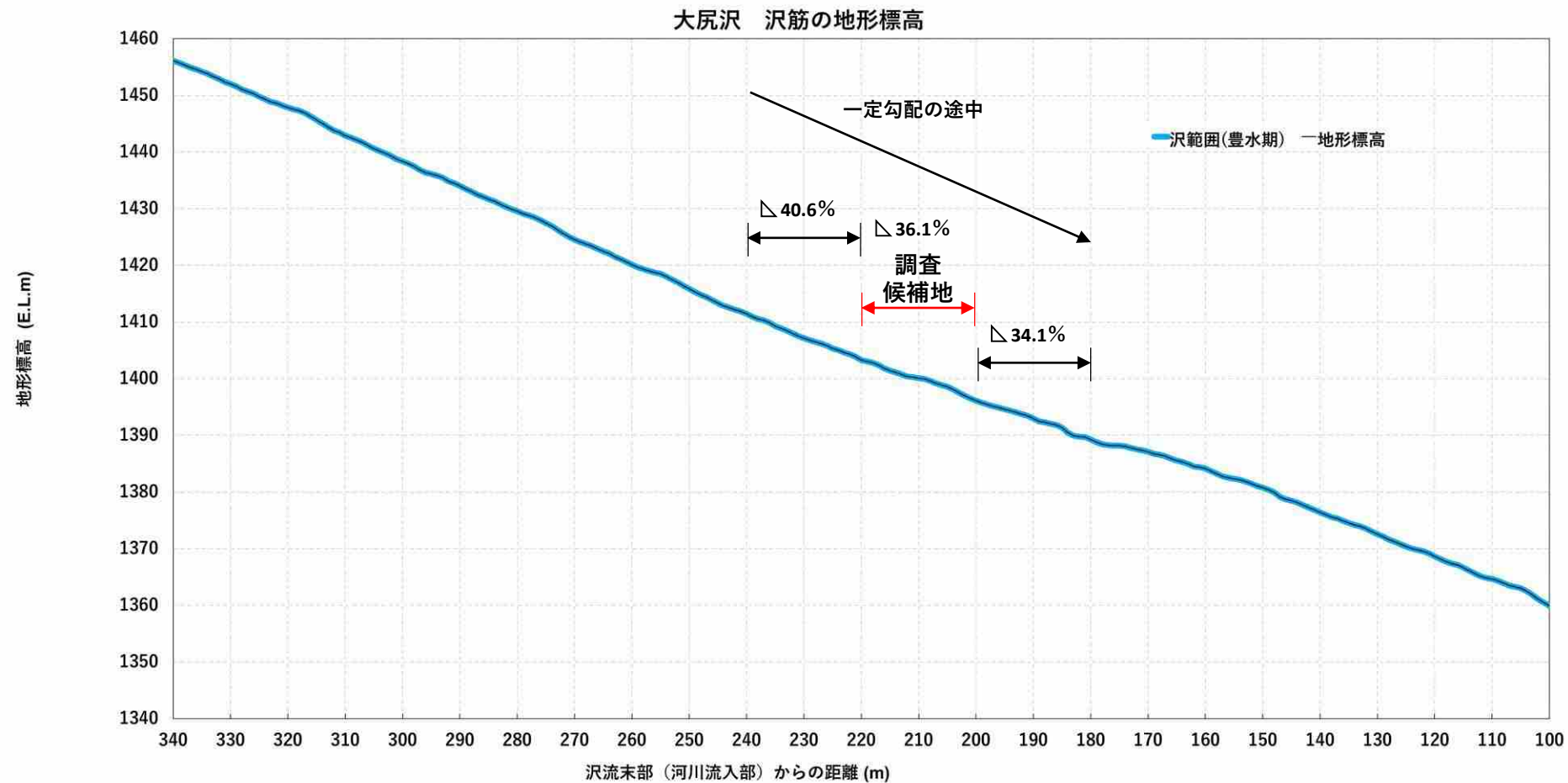
スリバチ沢 沢筋の地形標高



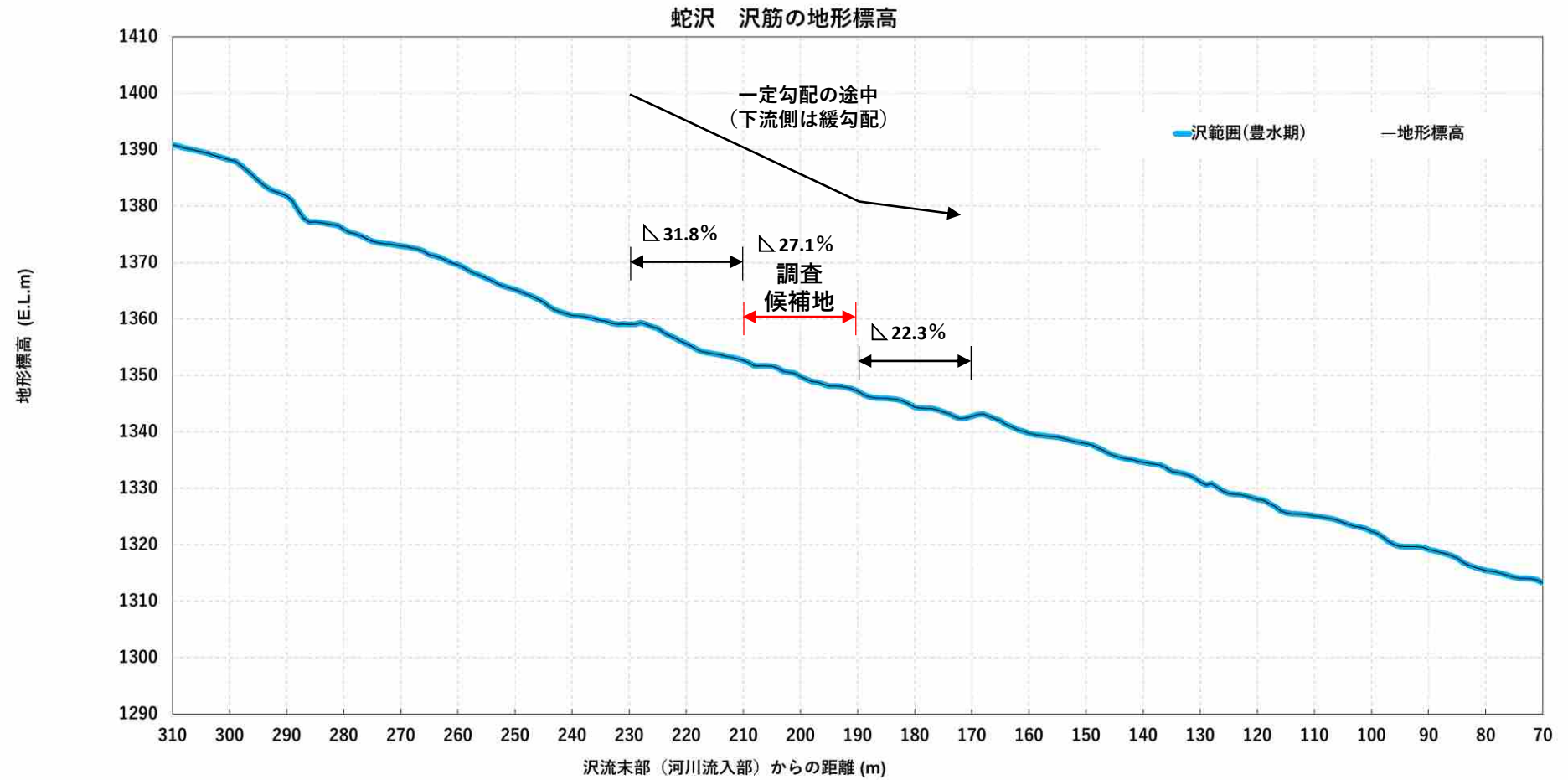
18 車屋沢



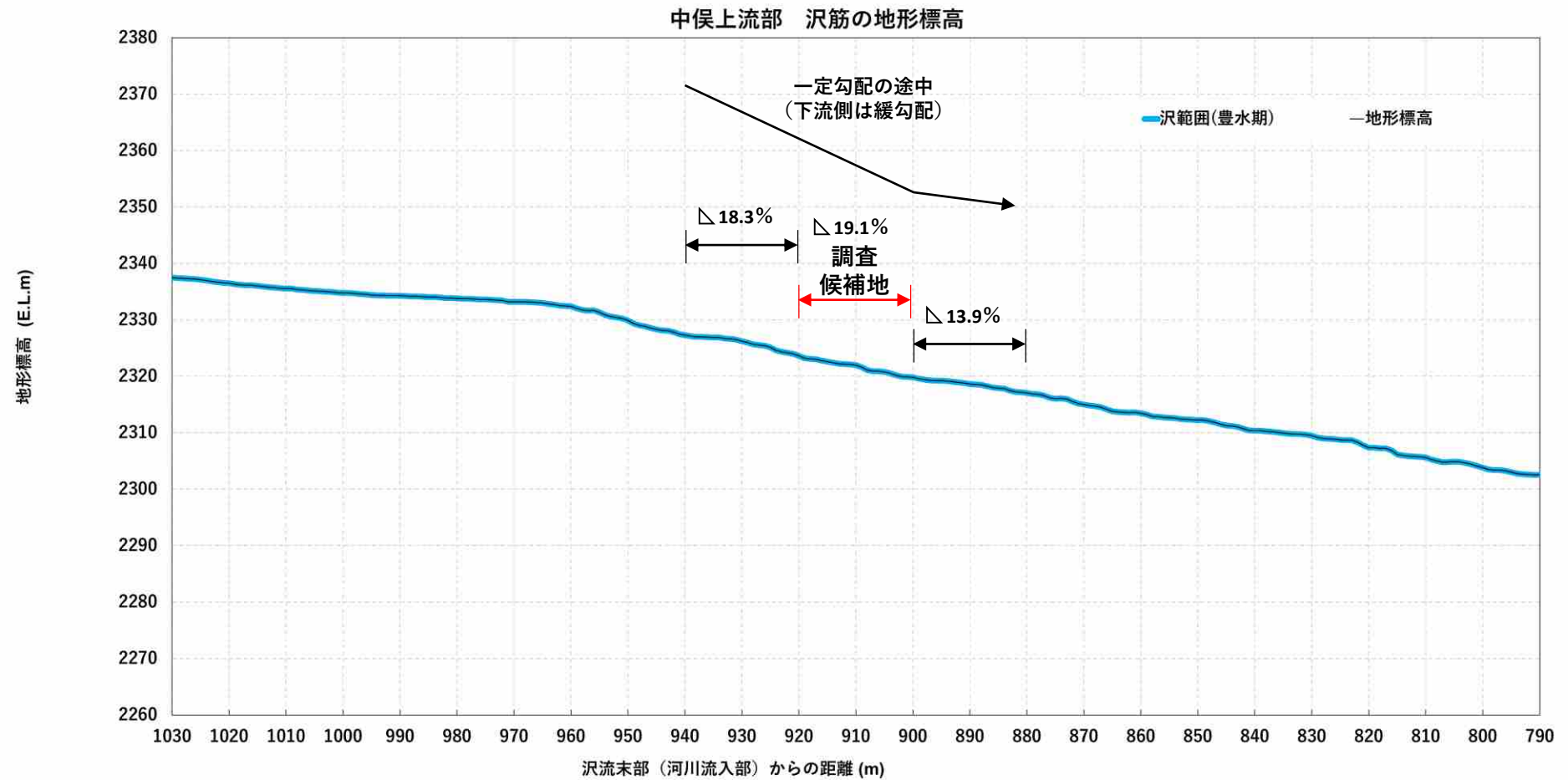
21 大尻沢



29 蛇沢



33北俣・中俣合流部（中俣）



上流域調査の対象沢に関する特徴の整理

	PCA詳細 類型化	基礎情報			詳細情報					(参考) 調査地 点の標高(m)	(参考) 有識会議 類型化
		①流域面積 (km ²)	②崩壊地の割合 (%)	③流路勾配 (%)	④流路が樹冠に 覆われている程度	⑤豊・平・低・渇水期毎の 水線の特徴	⑥支流の影響	⑦流路勾配の状況	⑧最小流量時EC (mS/m)		
指標性	－	沢全体の規模	沢全体としての 土砂供給状態	調査地点の 流況	沢全体としての 森林の発達程度 (落葉落枝の状況)	地下水の湧出点	調査地点の流況 (渇水期の水線の入り方に、支 流の合流の影響があるか否か)	調査地点の流況	基底流出のEC		
沢07 蛇抜沢	類型A-②	3.33	18.5	36.4	樹冠に覆われている区間 は少ない	C	影響なし	一定勾配の途中	11.6	2,020	類型 6
沢02 魚無沢	類型A-②	3.97	14.1	30.4	樹冠に覆われている区間 は中程度	A	影響なし	一定勾配の途中	8.8	2,100	類型 1
沢05 西小石沢	類型A-②	1.50	0.9	43.2	樹冠に覆われている区間 は中程度	B	影響なし	一定勾配の途中	11.2	1,860	類型 2
沢09 悪沢	類型A-①	3.94	4.2	29.1	樹冠に覆われている区間 は少ない	E or C	影響なし	急勾配の直後	11.9	1,980	類型 1
沢01 内無沢	類型A-①	5.69	6.2	13.3	樹冠に覆われている区間 は少ない	B	影響なし	一定勾配の途中 (下流側は急勾配)	6.7	2,150	類型 1
沢03 瀬戸沢	類型A-①	2.78	4.2	19.6	樹冠に覆われている区間 は少ない	B	影響なし	一定勾配の途中 (下流側は急勾配)	8.2	2,300	類型 6
沢33 北俣・中俣合 流部 (中俣)	類型A-①	17.78	6.0	10.1	樹冠に覆われている区間 は少ない	E	影響なし	一定勾配の途中 (下流側は緩勾配)	9.8	2,320	類型 1
沢13 ジャガ沢	類型B-①	2.09	2.8	32.2	樹冠に覆われている区間 は中程度	E or C	影響なし	緩勾配の直後	19.7	1,600	類型 7
沢17 スリパチ沢	類型B-①	0.98	1.4	36.3	ほとんど樹冠に覆われてい る	C	衛星画像で支流が確認でき ない	緩勾配の直後 (下流側も緩勾配)	15.2	1,520	類型 7
沢29 蛇沢	類型B-①	1.38	1.1	46.0	ほとんど樹冠に覆われてい る	E	影響あり	一定勾配の途中 (下流側は緩勾配)	12.6	1,350	類型 7
沢18 車屋沢 【代替】	類型B-①	1.54	2.8	38.2	樹冠に覆われている区間 は中程度	B	衛星画像で支流が確認でき ない	緩勾配の直後 (下流側も緩勾配) or 一定勾配の途中	9.0	1,470	類型 3
沢14 流沢	類型B-②	0.79	2.7	36.3	樹冠に覆われている区間 は中程度	E or C	影響なし	一定勾配の途中 (下流側は緩勾配)	13.8	1,480	類型 7
沢15 二軒小屋南西 の沢	類型B-②	0.22	6.3	58.2	樹冠に覆われている区間 は中程度	E or C	影響なし	一定勾配の途中	35.2	1,490	類型 7
沢16 上スリパチ沢	類型B-②	0.13	4.6	41.3	ほとんど樹冠に覆われてい る	E	衛星画像では支流が確認で きない	急勾配の直後 (下流側も急勾配)	30.7	1,400	類型 7
沢21 大尻沢 【代替】	類型B-②	1.03	0	46.2	ほとんど樹冠に覆われてい る	B	衛星画像で支流が確認でき ない	一定勾配の途中	7.9	1,400	類型 5

※赤字は上流域モデルで流量減少が予測されている沢、青字は上流域モデルで流量減少が予測されていない沢
※沢04 上岳沢、沢12 曲輪沢は、上流域調査候補地点が本流との合流部付近になってしまうことから、上流域調査の対象からは除外